

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-939 改 4
提出年月日	平成 30 年 9 月 11 日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 添付書類

発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書  
又項 その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備  
(浸水防護施設)

抜粋資料

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>ヌ その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備            (3) その他の主要な事項            (ii) 浸水防護設備            a. 津波に対する防護設備            ①設計基準対象施設は、基準津波に対して、その安全機能が損なわれるおそれがないものでなければならないこと、また、重大事故等対処施設は、基準津波及び敷地に遡上する津波に対して、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがないものでなければならないことから、防潮堤、防潮扉、放水路ゲート、逆流防止設備、浸水防止蓋、水密ハッチ、水密扉、逆止弁②等により、津波から防護する設計とする。</p>	<p>10.6 津波及び内部溢水に対する浸水防護設備            10.6.1 津波に対する防護設備            10.6.1.1 設計基準対象施設</p>	<p>【浸水防護施設】（基本設計方針）</p> <p>1. 津波による損傷の防止            1.1 耐津波設計の基本方針            ①設計基準対象施設及び重大事故等対処施設が設置（変更）許可を申請した基準津波によりその安全性又は重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがないよう、遡上への影響要因及び浸水経路等を考慮して、設計時にそれぞれの施設に対して入力津波を設定するとともに津波防護対象設備に対する入力津波の影響を評価し、影響に応じた津波防護対策を講じる設計とする。</p> <p>また、重大事故等対処施設が、基準津波を超え敷地に遡上する津波（確率的リスク評価において全炉心損傷頻度に対して津波のリスクが有意となる津波。以下「敷地に遡上する津波」という。）に対して、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮することができるよう、遡上への影響要因及び浸水経路等を考慮して、設計時にそれぞれの施設に対して入力津波を設定するとともに津波防護対象設備に対する入力津波の影響を評価し、影響に応じた津波防護対策を講じる設計とする。</p> <p>なお、津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備は、入力津波に対して機能を十分に保持できる設計とする。</p> <p>敷地に遡上する津波の高さは、防潮堤及び防潮扉の高さを超えることから、防潮堤及び防潮扉は、津波の越流時の耐性を確保することで防潮堤の高さを維持し、防潮堤内側の敷地への津波の流入量を抑制する設計とする。また、止水性を維持し第2波以降の繰返しの津波の襲来に対しては、防潮堤内側の敷地への津波の流入又は回り込みを防止する設計とする。</p>	<p>工事の計画の③(ii) a-①は、設置変更許可申請書（本文）の③(ii) a-①と同義であり整合している。また、設備の詳細については、後段にて整合性を説明する。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）の③(ii) a-②「等」は、工事の計画では、津波・構内監視カメラ、取水ピット水位計、潮位計であり、設置変更許可申請書（本文）「ロ. (2) 耐津波構造」にて示す。</p>	<p>【6条1】 【51条1】</p> <p>【54条1】</p> <p>【6条2】 【51条2】 【54条2】</p> <p>【54条3】</p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p> <u>Ⅹ(3)(ii)a-③防潮堤のうち鋼製防護壁には、鋼製防護壁と取水構造物との境界部に止水機構を設置し、止水性を保持する設計とする。</u> </p> <p> <u>放水路ゲートは、Ⅹ(3)(ii)a-④扉体、戸当り、駆動装置等で構成され、敷地への遡上のおそれのある津波襲来前に遠隔閉止を確実に実施するため、重要安全施設（MS-1）として設計する。</u> </p>	<p>                     10.6.1.1.3 主要設備                      (2) 放水路ゲート                      津波が放水路から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、放水路ゲートを設置する。放水路ゲートは、扉体、戸当り、駆動装置等で構成され、発電所を含む地域に大津波警報が発表された場合に遠隔閉止することにより津波の遡上を防止する設計とする。なお、放水路ゲートを閉止する前に、循環水ポンプを停止する運用とする。また、放水路ゲートは、津波防護施設であり、敷地への遡上のおそれのある津波襲来前に遠隔閉止を確実に実施するため、重要安全施設（MS-1）として設計する。                      放水路ゲートの設計においては、十分な支持性能を有                 </p>	<p>                     1.4 津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計                      (1) 基準津波に対する津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計                      a. 設計方針                      津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備については、「1.2 入力津波の設定」で設定している繰返しの襲来を想定した入力津波に対して、津波防護対象設備の要求される機能を損なうおそれがないよう以下の機能を満足する設計とする。                      (a) 津波防護施設                      津波防護施設は、津波の流入による浸水及び漏水を防止する設計とする。                      津波防護施設のうち防潮堤及び防潮扉については、入力津波高さを上回る高さで設置し、止水性を保持する設計とする。                      津波防護施設のうち放水路ゲート、構内排水路逆流防止設備については、入力津波による波圧等に対する耐性を評価し、津波の流入を防止する設計とする。                      津波防護施設のうち貯留堰については、津波による水位低下に対して、非常用海水ポンプの取水可能水位を保持し、かつ、冷却に必要な海水を確保する設計とする。                      主要な構造体の境界部には、想定される荷重の作用及び相対変位を考慮し、試験等にて止水性を確認した止水ジョイント等を設置し、止水処置を講じる設計とする。また、Ⅹ(3)(ii)a-③鋼製防護壁と取水構造物の境界部には、浸水防止設備として、想定される荷重の作用及び相対変位を考慮し、試験等にて止水性を確認した1次止水機構及び2次止水機構を多様化して設置し、止水性を保持する設計とする。                      1.3 津波防護対策                      (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1）                      a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1）                      (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止                      &lt;中略&gt;                      放水路ゲートについては、敷地への遡上のおそれのある津波の襲来前に遠隔閉止を確実に実施するため、重要安全施設（MS-1）として設計する。                      また、大津波警報が発表された場合に、放水路を経由して津波の流入を防止するため、循環水ポンプ及び補機冷却用海水ポンプの停止並びに放水路ゲートを閉止する運用を保安規定に定めて管理する。                 </p>	<p>                     工事の計画のⅩ(3)(ii)a-③は、設置変更許可申請書（本文）のⅩ(3)(ii)a-③と同義であり整合している。                 </p> <p>                     設置変更許可申請書（本文）のⅩ(3)(ii)a-④については、添付書類「V-2-10-2-3」に記載しており整合している。                 </p>	<p>                     【6条38】                      【51条43】                 </p> <p>                     【6条39】                      【51条44】                 </p> <p>                     【6条40】                      【51条45】                 </p> <p>                     【6条20】                      【51条19】                 </p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
	<p>する構造物に設置するとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して津波防護機能が十分に保持できる設計とする。また、波力による侵食及び洗掘に対する抵抗性並びにすべり及び転倒に対する安定性を評価し、越流時の耐性にも配慮した上で、入力津波に対する津波防護機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>10.6.1.1.3 主要設備</p> <p>(1) 防潮堤及び防潮扉 津波による遡上波が津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に到達、流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、敷地を取り囲む形で防潮堤を設置するとともに、防潮扉を設置する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (a) 遡上波の地上部からの到達、流入の防止 遡上波による敷地周辺の遡上の状況を加味した浸水の高さ分布を基に、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋及び区画の設置された敷地において、遡上波の地上部からの到達、流入の可能性の有無を評価する。 流入の可能性に対する裕度評価において、高潮ハザードの再現期間100年に対する期待値と、入力津波で考慮した朔望平均満潮位及び潮位のばらつきを踏まえた水位の合計との差を参照する裕度として、設計上の裕度の判断の際に考慮する。</p> <p>評価の結果、遡上波が地上部から到達し流入するため、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画（緊急時対策所建屋、可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）を除く。）の設置された敷地に、遡上波の流入を防止するための津波防護施設として防潮堤及び防潮扉を設置する設計とする。</p> <p>また、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋及び区画のうち、緊急時対策所建屋、可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）は、津波による遡上波が地上部から到達、流入しない十分高い場所に設置する設計とする。</p> <p>なお、防潮扉は、原則閉運用とすることを保安規定に定めて管理する。</p>		<p style="color: blue;">【6条15】 【51条13】</p> <p style="color: blue;">【6条16】 【51条14】</p> <p style="color: blue;">【51条15】</p> <p style="color: blue;">【6条17】 【51条16】</p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																						
<p>防潮堤（鋼製防護壁，止水機構付） 個.....数.....1</p> <p>防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁） 個.....数.....1</p> <p>防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁） 個.....数.....1</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(1) 防潮堤 種類 防潮堤（鋼製防護壁，止水機構付） 材料 鉄筋コンクリート，炭素鋼 個.....数.....1</p> <p>(2) 防潮堤 種類 防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁） 材料 鉄筋コンクリート 個.....数.....1</p> <p>(3) 防潮堤 種類 防潮堤 （鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁） 材料 鉄筋コンクリート，炭素鋼 個.....数.....1</p>	<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</b></p> <p>5. 浸水防護施設に係る次の事項 1. 外郭浸水防護設備の名称、種類、主要寸法及び材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>種</td> <td>防潮堤（鋼製防護壁）</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td>T.P.+50.00<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>寸</td> <td>法</td> <td>2500<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>鉄筋コンクリート SM490Y SM470 SM4500</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：鋼製防護壁と鉄筋コンクリート防潮壁の境界に止水ゴムを設置する。 *2：全周縁を付す。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>種</td> <td>防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td>T.P.+20.00<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>寸</td> <td>法</td> <td>2000<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：鉄筋コンクリート防潮壁にフラッグゲートを設置する。主要な構造物の境界に止水ゴムを設置する。 *2：全周縁を付す。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>種</td> <td>防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td>T.P.+20.00<sup>*)</sup> T.P.+18.00<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>寸</td> <td>法</td> <td>3500<sup>*)</sup> 3000<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>鉄筋コンクリート SM470</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：主要な構造物の境界に止水ゴムを設置する。 *2：全周縁を付す。</p>	変更前		変更後	名	種	防潮堤（鋼製防護壁）	種	類	浸水防護設備	主	要	T.P.+50.00 <sup>*)</sup>	寸	法	2500 <sup>*)</sup>	材	料	鉄筋コンクリート SM490Y SM470 SM4500	変更前		変更後	名	種	防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）	種	類	浸水防護設備	主	要	T.P.+20.00 <sup>*)</sup>	寸	法	2000 <sup>*)</sup>	材	料	鉄筋コンクリート	変更前		変更後	名	種	防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）	種	類	浸水防護設備	主	要	T.P.+20.00 <sup>*)</sup> T.P.+18.00 <sup>*)</sup>	寸	法	3500 <sup>*)</sup> 3000 <sup>*)</sup>	材	料	鉄筋コンクリート SM470	<p>工事の計画の「防潮堤」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。また、工事の計画の「止水機構を設置する」と設置変更許可申請書（本文）の「止水機構付」は同義であり整合している。</p> <p>工事の計画の「防潮堤」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>工事の計画の「防潮堤」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p>	
変更前		変更後																																																								
名	種	防潮堤（鋼製防護壁）																																																								
種	類	浸水防護設備																																																								
主	要	T.P.+50.00 <sup>*)</sup>																																																								
寸	法	2500 <sup>*)</sup>																																																								
材	料	鉄筋コンクリート SM490Y SM470 SM4500																																																								
変更前		変更後																																																								
名	種	防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）																																																								
種	類	浸水防護設備																																																								
主	要	T.P.+20.00 <sup>*)</sup>																																																								
寸	法	2000 <sup>*)</sup>																																																								
材	料	鉄筋コンクリート																																																								
変更前		変更後																																																								
名	種	防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）																																																								
種	類	浸水防護設備																																																								
主	要	T.P.+20.00 <sup>*)</sup> T.P.+18.00 <sup>*)</sup>																																																								
寸	法	3500 <sup>*)</sup> 3000 <sup>*)</sup>																																																								
材	料	鉄筋コンクリート SM470																																																								

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																		
<p>防潮扉 個.....数.....2</p>	<p>(4) 防潮扉 種類 スライドゲート 材料 炭素鋼 個.....数.....2</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1245 261 1738 842"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変更量</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">防 扉</td> <td>-</td> <td>防 扉 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スライドゲート</td> <td>-</td> <td>スライドゲート</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主 要 寸 法</td> <td>扉 全 体 幅</td> <td>mm</td> <td>8680<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>7200<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>1318<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>スチンプレート厚</td> <td>mm</td> <td>51<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>小 全 体 幅</td> <td>mm</td> <td>750<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>698<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>334<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>スチンプレート厚</td> <td>mm</td> <td>51<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>扉 全 体 幅</td> <td>mm</td> <td>T.P. 20.00<sup>*)</sup> **</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材</td> <td>扉 体</td> <td>-</td> <td>SM570 SMA490</td> </tr> <tr> <td>小 扉</td> <td>-</td> <td>SM570 SMA490</td> </tr> <tr> <td>扉 体</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：防塵壁の天端寸法を示す。</p>	名 称		変更量	変更後	防 扉		-	防 扉 1	スライドゲート		-	スライドゲート	主 要 寸 法	扉 全 体 幅	mm	8680 <sup>*)</sup>	幅	mm	7200 <sup>*)</sup>	厚 さ	mm	1318 <sup>*)</sup>	スチンプレート厚	mm	51 <sup>*)</sup>	小 全 体 幅	mm	750 <sup>*)</sup>	幅	mm	698 <sup>*)</sup>	厚 さ	mm	334 <sup>*)</sup>	スチンプレート厚	mm	51 <sup>*)</sup>	扉 全 体 幅	mm	T.P. 20.00 <sup>*)</sup> **	材	扉 体	-	SM570 SMA490	小 扉	-	SM570 SMA490	扉 体	-	鉄筋コンクリート	<p>工事の計画の「防潮扉1」,「防潮扉2」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数2」と整合している。</p>	
名 称		変更量	変更後																																																			
防 扉		-	防 扉 1																																																			
スライドゲート		-	スライドゲート																																																			
主 要 寸 法	扉 全 体 幅	mm	8680 <sup>*)</sup>																																																			
	幅	mm	7200 <sup>*)</sup>																																																			
	厚 さ	mm	1318 <sup>*)</sup>																																																			
	スチンプレート厚	mm	51 <sup>*)</sup>																																																			
	小 全 体 幅	mm	750 <sup>*)</sup>																																																			
	幅	mm	698 <sup>*)</sup>																																																			
	厚 さ	mm	334 <sup>*)</sup>																																																			
	スチンプレート厚	mm	51 <sup>*)</sup>																																																			
	扉 全 体 幅	mm	T.P. 20.00 <sup>*)</sup> **																																																			
	材	扉 体	-	SM570 SMA490																																																		
小 扉		-	SM570 SMA490																																																			
扉 体		-	鉄筋コンクリート																																																			

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																		
		<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 268 1736 845"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td></td> <td>防波壁2</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>型</td> <td>—</td> <td></td> <td>スライドゲート</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">工 事 要 求 品 目</td> <td rowspan="2">扉</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>6080<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>5800<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>1048<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>スキャンプレート厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>54<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>780<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>658<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">扉</td> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>324<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>スキャンプレート厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>54<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>扉体</td> <td>尺 寸 高 さ</td> <td>m</td> <td></td> <td>T.P. -18.00<sup>*1, *2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材</td> <td>扉</td> <td>姿</td> <td>—</td> <td>S4670 SM4496</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>扉</td> <td>—</td> <td>S4670 SM4496</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>取</td> <td>体</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート S4670</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：防波壁の寸法を示す。</p> <p>1.3 津波防護対策                      (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1）                      a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1）                      (b) 取水路，放水路等の経路からの津波の流入防止                      津波の流入の可能性のある経路につながる海水系，循環水系，構内排水路等の標高に基づき，許容される津波高さと経路からの津波高さを比較することにより，基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋及び区画の設置された敷地への津波の流入の可能性の有無を評価する。流入の可能性に対する裕度評価において，高潮ハザードの再現期間100年に対する期待値と，入力津波で考慮した朔望平均満潮位及び潮位のばらつきを踏まえた水位の合計との差を参照する裕度とし，設計上の裕度の判断の際に考慮する。</p>				変更前	変更後	名 称				防波壁2	種	型	—		スライドゲート	工 事 要 求 品 目	扉	たて	mm	6080 <sup>*1</sup>	横	mm	5800 <sup>*2</sup>	厚	さ	mm	1048 <sup>*2</sup>	スキャンプレート厚	さ	mm	54 <sup>*2</sup>	小	たて	mm	780 <sup>*2</sup>	横	mm	658 <sup>*2</sup>	扉	厚	さ	mm	324 <sup>*2</sup>	スキャンプレート厚	さ	mm	54 <sup>*2</sup>	扉体	尺 寸 高 さ	m		T.P. -18.00 <sup>*1, *2</sup>	材	扉	姿	—	S4670 SM4496	小	扉	—	S4670 SM4496	目	取	体	—	鉄筋コンクリート S4670		
			変更前	変更後																																																																		
名 称				防波壁2																																																																		
種	型	—		スライドゲート																																																																		
工 事 要 求 品 目	扉	たて	mm	6080 <sup>*1</sup>																																																																		
		横	mm	5800 <sup>*2</sup>																																																																		
	厚	さ	mm	1048 <sup>*2</sup>																																																																		
		スキャンプレート厚	さ	mm	54 <sup>*2</sup>																																																																	
	小	たて	mm	780 <sup>*2</sup>																																																																		
		横	mm	658 <sup>*2</sup>																																																																		
	扉	厚	さ	mm	324 <sup>*2</sup>																																																																	
		スキャンプレート厚	さ	mm	54 <sup>*2</sup>																																																																	
	扉体	尺 寸 高 さ	m		T.P. -18.00 <sup>*1, *2</sup>																																																																	
	材	扉	姿	—	S4670 SM4496																																																																	
小		扉	—	S4670 SM4496																																																																		
目	取	体	—	鉄筋コンクリート S4670																																																																		
				【6条18】 【51条17】																																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																												
<p>放水路ゲート 個.....数.....3</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (2) <b>放水路ゲート</b> 津波が放水路から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、放水路ゲートを設置する。放水路ゲートは、扉体、戸当り、駆動装置等で構成され、発電所を含む地域に大津波警報が発表された場合に遠隔閉止することにより津波の遡上を防止する設計とする。なお、放水路ゲートを閉止する前に、循環水ポンプを停止する運用とする。また、放水路ゲートは、津波防護施設であり、敷地への遡上のおそれのある津波襲来前に遠隔閉止を確実に実施するため、重要安全施設（MS-1）として設計する。 放水路ゲートの設計においては、十分な支持性能を有する構造物に設置するとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して津波防護機能が十分に保持できる設計とする。また、波力による侵食及び洗掘に対する抵抗性並びにすべり及び転倒に対する安定性を評価し、越流時の耐性にも配慮した上で、入力津波に対する津波防護機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。 ＜中略＞ 第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (5) <b>放水路ゲート</b> 種類 逆流防止設備 (ゲート、フラップゲート) 材料 炭素鋼 個.....数.....3（各放水路に1か所）</p>	<p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプビット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。 放水路ゲートについては、敷地への遡上のおそれのある津波の襲来前に遠隔閉止を確実に実施するため、重要安全施設（MS-1）として設計する。 また、大津波警報が発表された場合に、放水路を經由して津波の流入を防止するため、循環水ポンプ及び補機冷却用海水ポンプの停止並びに放水路ゲートを閉止する運用を保安規定に定めて管理する。 上記(a)及び(b)において、外郭防護として設置する津波防護施設及び浸水防止設備については、各地点の入力津波に対し、設計上の裕度を考慮する。 <b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 933 1736 1380"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">要 求 寸 法</td> <td rowspan="2">名 称</td> <td colspan="2">放水路ゲート1, 2, 3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">逆流防止設備 (ゲート、フラップゲート)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">扉</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>3730*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>4250*</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>838*</td> </tr> <tr> <td>ステンプレート厚さ</td> <td>mm</td> <td>28*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>650*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1210*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">扉</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>39*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>39*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 質</td> <td>扉 体</td> <td>-</td> <td>S2450</td> </tr> <tr> <td>小 型</td> <td>-</td> <td>S2450</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	要 求 寸 法	名 称	放水路ゲート1, 2, 3		逆流防止設備 (ゲート、フラップゲート)		扉	たて	mm	3730*	幅	mm	4250*	厚さ	mm	838*	ステンプレート厚さ	mm	28*	小	たて	mm	650*	幅	mm	1210*	扉	たて	mm	39*	幅	mm	39*	材 質	扉 体	-	S2450	小 型	-	S2450	<p>工事の計画の「放水路ゲート1, 2, 3」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数3」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】  【6条20】 【51条19】  【6条21】 【51条20】</p>
		変更前	変更後																																													
要 求 寸 法	名 称	放水路ゲート1, 2, 3																																														
		逆流防止設備 (ゲート、フラップゲート)																																														
	扉	たて	mm	3730*																																												
		幅	mm	4250*																																												
		厚さ	mm	838*																																												
		ステンプレート厚さ	mm	28*																																												
	小	たて	mm	650*																																												
		幅	mm	1210*																																												
	扉	たて	mm	39*																																												
		幅	mm	39*																																												
材 質	扉 体	-	S2450																																													
	小 型	-	S2450																																													



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																															
<p>構内排水路逆流防止設備 個.....数.....9</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備</p> <p>(3) 構内排水路逆流防止設備 津波が構内排水路から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、<u>構内排水路逆流防止設備を設置する。</u> 構内排水路逆流防止設備の設計においては、十分な支持性能を有する構造物に設置するとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して津波防護機能が十分に保持できる設計とする。また、波力による侵食及び洗掘に対する抵抗性並びにすべり及び転倒に対する安定性を評価し、越流時の耐性にも配慮した上で、入力津波に対して津波防護機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(6) 構内排水路逆流防止設備</p> <table border="1" data-bbox="705 821 1209 909"> <tr> <td>種類</td> <td>逆流防止設備（フラップゲート）</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個.....数.....</td> <td>9</td> </tr> </table>	種類	逆流防止設備（フラップゲート）	材料	ステンレス鋼	個.....数.....	9	<p>1.3 津波防護対策</p> <p>(1) 敷地への浸水防止（外郭防護1）</p> <p>a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1）</p> <p>(b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt;</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 853 1736 1109"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名 称</td> <td></td> <td></td> <td>構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>逆流防止設備 (フラップゲート)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>外 径</td> <td>18</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ステンプレートの厚 さ</td> <td></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>種 類</td> <td></td> <td>SUS316L</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1: 公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名 称			構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9			逆流防止設備 (フラップゲート)	主 要 寸 法	外 径	18	mm	厚 さ		mm	ステンプレートの厚 さ		mm	材 料	種 類		SUS316L	<p>工事の計画の「構内排水路逆流防止設備1, 2, 3, 4, 7, 8, 9」, 「構内排水路逆流防止設備5, 6」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数9」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
種類	逆流防止設備（フラップゲート）																																		
材料	ステンレス鋼																																		
個.....数.....	9																																		
		変更前	変更後																																
名 称			構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9																																
			逆流防止設備 (フラップゲート)																																
主 要 寸 法	外 径	18	mm																																
	厚 さ		mm																																
	ステンプレートの厚 さ		mm																																
材 料	種 類		SUS316L																																

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																									
<p>Ⅹ(3)(ii)a-⑤原子炉建屋外壁 個.....数.....一式</p>	<p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(7) 原子炉建屋外壁 種類 津波防護壁 材料 鉄筋コンクリート 個.....数.....一式</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">名 稱</td> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">構内排水逆流防止設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">E-④ 逆流防止設備 (フラッシュゲート)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td style="text-align: center;">外 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">mm<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">150<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">スリット 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">mm<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SUS316L</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *：公称値を示す。</p> <p>1.4 津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計 (2) 敷地に遡上する津波に対する津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計 a. 設計方針 津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備については、「1.2 入力津波の設定」で設定している入力津波に対して、津波防護対象設備の要求される機能を損なうおそれがないよう以下の機能を満足する設計とする。 防潮堤及び防潮扉については、敷地に遡上する津波の越流時の耐性を確保することで防潮堤の高さ及び止水性を保持するとともに、漂流物の衝突荷重の影響を考慮した設計とする。</p> <p>(a) 津波防護施設 津波防護施設のうち、Ⅹ(3)(ii)a-⑤原子炉建屋外壁、原子炉建屋水密扉、放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備については、敷地に遡上する津波の入力津波による波圧等に対する耐性を評価し、止水性を保持する設計とする。構内排水路逆流防止設備は、漂流物の堆積及び異物の噛み込みによる影響を考慮した設計とする。 主要な構造体の境界部に対する設計は、敷地に遡上する津波の入力津波に対して「(1) 基準津波に対する津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計 a. 設計方針」に記載する内容と同じである。</p>			変更前	変更後	名 稱	種 類	—	構内排水逆流防止設備	—	—	E-④ 逆流防止設備 (フラッシュゲート)	主 要 寸 法	外 径	mm	mm <sup>*</sup>	厚 さ	mm	150 <sup>*</sup>	スリット 厚 さ	mm	mm <sup>*</sup>	材 料	—	—	SUS316L	<p>工事の計画のⅩ(3)(ii)a-⑤は、個数一式を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数一式」と整合している。</p>	<p>【54条42】</p> <p>【54条43】</p>
		変更前	変更後																										
名 稱	種 類	—	構内排水逆流防止設備																										
	—	—	E-④ 逆流防止設備 (フラッシュゲート)																										
主 要 寸 法	外 径	mm	mm <sup>*</sup>																										
	厚 さ	mm	150 <sup>*</sup>																										
	スリット 厚 さ	mm	mm <sup>*</sup>																										
材 料	—	—	SUS316L																										

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>貯留堰(3)(ii)a-⑥(「ヌ(3)(v) 非常用取水設備」と兼用).. 個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備</p> <p>(4) 貯留堰 基準津波による水位低下時に、取水ピット内の水位が非常用海水ポンプの取水可能水位を下回ることがなく、非常用海水ポンプの継続運転が十分可能な設計とするため、取水口前面に海水を貯留する対策として貯留堰を設置する。貯留堰の設計においては、十分な支持性能を有する岩盤に設置するとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して津波防護機能が十分に保持できる設計とする。また、波力による侵食及び洗掘に対する抵抗性並びにすべり及び転倒に対する安定性を評価し、越流時の耐性や構造境界部の止水に配慮した上で、入力津波に対する津波防護機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、漂流物による荷重及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。漂流物による衝突荷重は、取水口に到達する可能性があるもののうち、最も重量が大きい漁船（総トン数5t）を考慮して設定する。なお、主要な構造体の境界部には、想定される荷重の作用及び相対変位を考慮し、試験等にて止水性を確認した継手及び止水ジョイントを設置し、止水処置を講じる設計とする。</p>	<p>(4) 水位変動に伴う取水性低下及び津波の二次的な影響による重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止</p> <p>a. 基準津波における取水性低下及び津波による二次的な影響の防止</p> <p>(a) 非常用海水ポンプ、緊急用海水ポンプ、可搬型代替注水大型ポンプ及び可搬型代替注水中型ポンプの取水性</p> <p>非常用海水ポンプについては、評価水位としての取水ピットでの下降側水位と非常用海水ポンプの取水可能水位を比較し、評価水位が非常用海水ポンプ取水可能水位を下回る可能性の有無を評価する。</p> <p>また、緊急用海水ポンプについては、取水箇所であるSA用海水ピット取水塔の天端高さを入力津波高さを比較し、入力津波の下降側水位がSA用海水ピット取水塔の天端高さを下回る時間を時刻歴波形で確認し、この時間を、緊急用海水系の保有水のみで残留熱除去系熱交換器及び補機類の冷却に必要な海水流量が確保可能であるか評価する。</p> <p>評価の結果、非常用海水ポンプの取水可能水位を下回ることから、津波防護施設として、海水を貯留するための貯留堰を設置することで、取水性を確保する設計とする。</p> <p>なお、大津波警報が発表された場合に、引き波による水位低下に対して、非常用海水ポンプの取水性を確保するため、循環水ポンプ及び補機冷却用海水ポンプを停止する手順を保安規定に定めて管理する。</p> <p>緊急用海水ポンプについては、非常用海水ポンプが健全であれば運転しない場合もあるが、津波による引き波時において緊急用海水ポンプを運転したとしても、地下岩盤内に設置した緊急用海水系の保有水のみで残留熱除去系熱交換器及び補機類の冷却に必要な海水流量が確保可能な設計とする。</p> <p>非常用海水ポンプについては、津波による上昇側の水位変動に対しても、取水機能が保持できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水大型ポンプ及び可搬型代替注水中型ポンプについても、入力津波の水位に対して、取水性を確保できるものを用いる設計とする。</p>		<p>【6条29】 【51条28】</p> <p>【51条29】</p> <p>【6条30】 【51条30】</p> <p>【6条31】 【51条31】</p> <p>【51条32】</p> <p>【6条32】 【51条33】</p> <p>【51条34】</p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																											
	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(8) 貯留堰（非常用取水設備と兼用）...</p> <p>種類 鋼管矢板式堰            材料 炭素鋼            個数 1</p>	<p>【非常用取水設備】（要目表）</p> <table border="1" data-bbox="1249 263 1736 491"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>貯留堰*1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>類</td> <td>—</td> <td></td> <td>鋼管矢板式*2</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>2162以上*3 (2378*3、*4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> <td>64662*4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> <td>21431*4</td> </tr> <tr> <td>天端高さ</td> <td>m</td> <td></td> <td>T.P.-4.90</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>SM570</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設の外郭浸水防護設備と兼用する。            *2：貯留堰と貯留堰取水護岸の境界に止水ジョイントを設置する。            *3：取水構造物及び貯留堰の合計値を示す。            *4：公称値を示す。</p> <p style="text-align: center;">㊦(3)(ii)a-⑥</p>				変更前	変更後	名称				貯留堰*1	種類	類	—		鋼管矢板式*2	容量	量	m <sup>3</sup>		2162以上*3 (2378*3、*4)	主要寸法	たて	mm		64662*4	横	mm		21431*4	天端高さ	m		T.P.-4.90	材料	—			SM570	個数	—			1	<p>工事の計画の「貯留堰」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>「貯留堰」は、設置変更許可申請書（本文）における㊦(3)(ii)a-⑥を工事の計画における主たる登録として「非常用取水設備」のうち「取水設備」に整理しており整合している。</p>	
			変更前	変更後																																											
名称				貯留堰*1																																											
種類	類	—		鋼管矢板式*2																																											
容量	量	m <sup>3</sup>		2162以上*3 (2378*3、*4)																																											
主要寸法	たて	mm		64662*4																																											
	横	mm		21431*4																																											
	天端高さ	m		T.P.-4.90																																											
材料	—			SM570																																											
個数	—			1																																											

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																										
<p>取水路点検用開口部浸水防止蓋 個.....数.....10</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (5) 取水路点検用開口部浸水防止蓋 津波が取水路の点検用開口部から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、取水路の点検用開口部に浸水防止蓋を設置する。取水路点検用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動S<sub>0</sub>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(9) 取水路点検用開口部浸水防止蓋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">種</td> <td style="width: 10%;">類</td> <td style="width: 80%;">浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>10</td> </tr> </table>	種	類	浸水防止蓋	材	料	ステンレス鋼	個	数	10	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 ＜中略＞</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプビット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">種 要 寸 法</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">高</td> <td>mm</td> <td>3820*</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">幅</td> <td>mm</td> <td>870*</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">厚</td> <td>mm</td> <td>30.0*</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">材</td> <td>種</td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：*は公称値を示す。</p>			変更前	変更後	種 要 寸 法	高	mm	3820*	幅	mm	870*	厚	mm	30.0*	材	種	SUS304	<p>工事の計画の「取水路点検用開口部浸水防止蓋1,10」、「取水路点検用開口部浸水防止蓋2,3,4,5,6,7,8,9」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数10」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
種	類	浸水防止蓋																												
材	料	ステンレス鋼																												
個	数	10																												
		変更前	変更後																											
種 要 寸 法	高	mm	3820*																											
	幅	mm	870*																											
	厚	mm	30.0*																											
	材	種	SUS304																											

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																	
		<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1249 256 1733 520"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名称</td> <td></td> <td>雨水樋口部 浸水防止蓋 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td></td> <td>浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>た</td> <td>て</td> <td>mm</td> <td>3820*</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幅</td> <td>mm</td> <td>1535*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">法</td> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>50.0*</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>質</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称寸法。</p>				変更前	変更後	名称				雨水樋口部 浸水防止蓋 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	種	類	—		浸水防止蓋	主要寸法	た	て	mm	3820*	幅		mm	1535*	法	厚	さ	mm	50.0*	材	質	—	SUS304		
			変更前	変更後																																	
名称				雨水樋口部 浸水防止蓋 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.																																	
種	類	—		浸水防止蓋																																	
主要寸法	た	て	mm	3820*																																	
	幅		mm	1535*																																	
法	厚	さ	mm	50.0*																																	
	材	質	—	SUS304																																	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																						
<p>海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁 個.....数.....2</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (6) 海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁 津波が海水ポンプグラウンドドレン排出口から海水ポンプ室に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、海水ポンプグラウンドドレン排出口に逆止弁を設置する。海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁の設計においては、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(10) 海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁 種類 逆流防止設備（逆止弁） 材料 ステンレス鋼 個.....数.....2</p>	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 ＜中略＞</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、S A用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプビット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 850 1733 1086"> <thead> <tr> <th colspan="4"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名</td> <td rowspan="2">称</td> <td rowspan="2">単</td> <td rowspan="2">位</td> <td>海水ポンプグラウンドドレン</td> <td>海水ポンプグラウンドドレン</td> </tr> <tr> <td>排出口逆止弁1,2</td> <td>排出口逆止弁1,2</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>逆流防止設備（逆止弁）</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td>材</td> <td>質</td> <td>—</td> <td>80A</td> </tr> <tr> <td>寸</td> <td>法</td> <td>寸</td> <td>法</td> <td>—</td> <td>192°</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316L</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1：公称値を示す。</p>					変更前	変更後	名	称	単	位	海水ポンプグラウンドドレン	海水ポンプグラウンドドレン	排出口逆止弁1,2	排出口逆止弁1,2	種	類	—	—	—	逆流防止設備（逆止弁）	主	要	材	質	—	80A	寸	法	寸	法	—	192°	材	料	—	—	—	SUS316L	<p>工事の計画の「海水ポンプグラウンドドレン排出口逆止弁1,2」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数2」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
				変更前	変更後																																					
名	称	単	位	海水ポンプグラウンドドレン	海水ポンプグラウンドドレン																																					
				排出口逆止弁1,2	排出口逆止弁1,2																																					
種	類	—	—	—	逆流防止設備（逆止弁）																																					
主	要	材	質	—	80A																																					
寸	法	寸	法	—	192°																																					
材	料	—	—	—	SUS316L																																					

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																		
<p>取水ピット空気抜き配管逆止弁 個.....数.....3</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (7) 取水ピット空気抜き配管逆止弁 津波が取水ピット空気抜き配管から循環水ポンプ室に流入することを防止することにより、隣接する海水ポンプ室に浸水することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、取水ピット空気抜き配管に逆止弁を設置する。取水ピット空気抜き配管逆止弁の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(11) 取水ピット空気抜き配管逆止弁</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">種類</td> <td>逆流防止設備（逆止弁）</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個.....数.....</td> <td>3</td> </tr> </table>	種類	逆流防止設備（逆止弁）	材料	ステンレス鋼	個.....数.....	3	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt;</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ピット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ピット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">部</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>取水ピット空気抜き配管逆止弁</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>—</td> <td>逆流防止設備（逆止弁）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">目</td> <td>径</td> <td>—</td> <td>100A</td> </tr> <tr> <td>弁本体高さ</td> <td>mm</td> <td>9.6*</td> </tr> <tr> <td>弁蓋高さ</td> <td>mm</td> <td>22.0*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材</td> <td>弁本体</td> <td>—</td> <td>SS16A</td> </tr> <tr> <td>弁蓋</td> <td>—</td> <td>SS16A</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	名 称		変更前	変更後	部	種	—	取水ピット空気抜き配管逆止弁	材	—	逆流防止設備（逆止弁）	目	径	—	100A	弁本体高さ	mm	9.6*	弁蓋高さ	mm	22.0*	材	弁本体	—	SS16A	弁蓋	—	SS16A	<p>工事の計画の「取水ピット空気抜き配管逆止弁1,2,3」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数3」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
種類	逆流防止設備（逆止弁）																																					
材料	ステンレス鋼																																					
個.....数.....	3																																					
名 称		変更前	変更後																																			
部	種	—	取水ピット空気抜き配管逆止弁																																			
	材	—	逆流防止設備（逆止弁）																																			
目	径	—	100A																																			
	弁本体高さ	mm	9.6*																																			
	弁蓋高さ	mm	22.0*																																			
材	弁本体	—	SS16A																																			
	弁蓋	—	SS16A																																			



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																												
<p>放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋 個.....数.....3</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (8) 放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋 津波が放水路ゲートの点検用開口部から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、放水路ゲートの点検用開口部に浸水防止蓋を設置する。放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動<math>S_g</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(12) 放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋 種類 浸水防止蓋 材料 炭素鋼 個.....数.....3</p>	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt; 評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプビット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床 dren 排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 821 1736 1109"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名 称</td> <td></td> <td></td> <td>放水路ゲート点検用開口部 浸水防止蓋1,2,3</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>—</td> <td>浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>1550*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>4900*</td> </tr> <tr> <td>厚 さ</td> <td>mm</td> <td>322*</td> </tr> <tr> <td>スكينプレート厚さ</td> <td>mm</td> <td>22*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>—</td> <td></td> <td>SM490</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：*：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名 称			放水路ゲート点検用開口部 浸水防止蓋1,2,3	種 別	—	浸水防止蓋	主 要 寸 法	た て	mm	1550*	幅	mm	4900*	厚 さ	mm	322*	スكينプレート厚さ	mm	22*	材 料	—		SM490	<p>工事の計画の「放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋1,2,3」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数3」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
		変更前	変更後																													
名 称			放水路ゲート点検用開口部 浸水防止蓋1,2,3																													
	種 別	—	浸水防止蓋																													
主 要 寸 法	た て	mm	1550*																													
	幅	mm	4900*																													
	厚 さ	mm	322*																													
	スكينプレート厚さ	mm	22*																													
材 料	—		SM490																													

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																
<p>S A用海水ピット開口部浸水防止蓋 個.....数.....6</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (9) S A用海水ピット開口部浸水防止蓋 津波がS A用海水ピットの開口部から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、S A用海水ピットの開口部に浸水防止蓋を設置する。S A用海水ピット開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、その他自然現象による荷重（風荷重、積雪荷重等）及び地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(13) <u>S A用海水ピット開口部浸水防止蓋</u> 種類 浸水防止蓋 材料 炭素鋼 個.....数.....6</p>	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt; 評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ピット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、S A用海水ピット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1240 850 1736 1300"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主要寸法</td> <td rowspan="2">蓋</td> <td>高さ</td> <td>1320*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>1900*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小扉</td> <td>高さ</td> <td>219*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>480*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材</td> <td>スキンプレート厚さ</td> <td>13*</td> </tr> <tr> <td>スキンプレート厚さ</td> <td>13*</td> </tr> <tr> <td>スキンプレート厚さ</td> <td>13*</td> </tr> <tr> <td>スキンプレート厚さ</td> <td>13*</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>SH490</td> <td>SH490</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>SH490</td> <td>SH490</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	主要寸法	蓋	高さ	1320*	幅	1900*	小扉	高さ	219*	幅	480*	材	スキンプレート厚さ	13*	スキンプレート厚さ	13*	スキンプレート厚さ	13*	スキンプレート厚さ	13*			SH490	SH490			SH490	SH490	<p>工事の計画の「S A用海水ピット開口部浸水防止蓋1,2,3,4,5,6」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数6」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
		変更前	変更後																																	
主要寸法	蓋	高さ	1320*																																	
		幅	1900*																																	
	小扉	高さ	219*																																	
		幅	480*																																	
	材	スキンプレート厚さ	13*																																	
		スキンプレート厚さ	13*																																	
		スキンプレート厚さ	13*																																	
		スキンプレート厚さ	13*																																	
			SH490	SH490																																
			SH490	SH490																																

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																						
<p>緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋 個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (10) 緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋 津波が緊急用海水ポンプピットの点検用開口部から緊急用海水ポンプ室に流入することを防止することにより、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、緊急用海水ポンプピットの点検用開口部に浸水防止蓋を設置する。緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(14) 緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">種類</td> <td>浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個.....数.....</td> <td>1</td> </tr> </table>	種類	浸水防止蓋	材料	ステンレス鋼	個.....数.....	1	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 ＜中略＞</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ピット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ピット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">備 考</th> <th colspan="2">設 置 後</th> </tr> <tr> <th>緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋</th> <th>視水防止蓋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>960°</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業 種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>980°</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸 法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>150°</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注 スキヤンプレート厚さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>13.0°</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	種 類	規 格	備 考	設 置 後		緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋	視水防止蓋	形状	—	—	960°		業 種	—	—	980°		寸 法	—	—	150°		注 スキヤンプレート厚さ	—	—	13.0°		材 料	—	—	SUS304		<p>工事の計画の「緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
種類	浸水防止蓋																																									
材料	ステンレス鋼																																									
個.....数.....	1																																									
種 類	規 格	備 考	設 置 後																																							
			緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋	視水防止蓋																																						
形状	—	—	960°																																							
業 種	—	—	980°																																							
寸 法	—	—	150°																																							
注 スキヤンプレート厚さ	—	—	13.0°																																							
材 料	—	—	SUS304																																							

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																										
<p>緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁 個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (11) 緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁 津波が緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口から緊急用海水ポンプ室に流入することを防止することにより、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁を設置する。緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁の設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(15) 緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁 種類 逆流防止設備（逆止弁） 材料 ステンレス鋼 個.....数.....1</p>	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt;</p> <p>評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床 dren 排水口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1245 858 1736 1086"> <thead> <tr> <th colspan="4"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">名</td> <td rowspan="3">種</td> <td rowspan="3">類</td> <td rowspan="3">寸法</td> <td></td> <td>緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆流防止設備（逆止弁）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80A</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>132*</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>SUS316L</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>					変更前	変更後	名	種	類	寸法		緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁		逆流防止設備（逆止弁）		80A					132*					SUS316L	<p>工事の計画の「緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
				変更前	変更後																									
名	種	類	寸法		緊急用海水ポンプグラウンド dren 排水口逆止弁																									
					逆流防止設備（逆止弁）																									
					80A																									
				132*																										
				SUS316L																										

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																						
<p>緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁 個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (12) 緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁 津波が緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口から緊急用海水ポンプ室に流入することを防止することにより、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、緊急用海水ポンプ室の床ドレン排出口に逆止弁を設置する。<u>緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁</u>の設計においては、基準地震動Ssによる地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(16) <u>緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁</u> 種類 逆流防止設備（逆止弁） 材料 ステンレス鋼 個.....数.....1</p>	<p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） (b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止 &lt;中略&gt; 評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 842 1733 1098"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>設 置 前</th> <th>設 置 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種 類</td> <td>緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>逆流防止設備（逆止弁）</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td>寸 法</td> <td>-</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>1320</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>材 質</td> <td>-</td> <td>SUS316L</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称径を示す。</p>	名 称		設 置 前	設 置 後	種 類	緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁	-	1	逆流防止設備（逆止弁）	-	1	主 要 寸 法	寸 法	-	800	高 さ	mm	1320	材 料	材 質	-	SUS316L	<p>工事の計画の「緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
名 称		設 置 前	設 置 後																							
種 類	緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁	-	1																							
	逆流防止設備（逆止弁）	-	1																							
主 要 寸 法	寸 法	-	800																							
	高 さ	mm	1320																							
材 料	材 質	-	SUS316L																							

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋(3)(ii)a-⑦                      …(「ヌ(3)(ii)b…内部溢水に対する防護設備」と兼用)…                      個 数 3</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備                      (13) 海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋                      海水ポンプ室ケーブル点検口から浸水防護重点化範囲への溢水の流入を防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、海水ポンプ室のケーブル点検口に浸水防止蓋を設置する。海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p>	<p>1.3 津波防護対策                      (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）                      a. 基準津波による影響防止                      (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策                      経路からの津波による溢水を考慮した浸水範囲及び浸水量を基に、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性の有無を評価する。浸水範囲及び浸水量については、地震による溢水の影響も含めて確認する。地震による溢水のうち、津波による影響を受けない範囲の評価については、「2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止」に示す。</p> <p>評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。</p> <p>また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。</p> <p>また、浸水防止設備として設置する水密扉については、津波の流入を防止するため、扉の閉止運用を保安規定に定めて管理する。</p> <p>内郭防護として設置及び実施する浸水防止設備については、貫通部、開口部等の一部分のみが浸水範囲となる場合においても貫通部、開口部等の全体を浸水防護することにより、浸水評価に対して裕度を確保する設計とする。</p>		<p>【6条25】 【51条24】</p> <p>【6条26】</p> <p>【51条25】</p> <p>【6条27】 【51条26】</p> <p>【6条28】 【51条27】</p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																													
	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様                      (17) <u>海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋</u>                      種類 浸水防止蓋                      材料 ステンレス鋼                      個数 3</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 274 1733 694"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名称</td> <td colspan="3">海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋1,2,3</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>種</td> <td>—</td> <td colspan="3">浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>m</td> <td colspan="3">1500*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td colspan="3">850*</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>m</td> <td colspan="3">18.0*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>材質</td> <td>—</td> <td colspan="3">SUS304</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>—</td> <td colspan="3">海水ポンプ室</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td colspan="3">EL-0,80 n</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	変更前			変更後			名称			海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋1,2,3			種別	種	—	浸水防止蓋			主要寸法	たて	m	1500*			幅	m	850*			厚さ	m	18.0*			取付箇所	材質	—	SUS304			系統名 (ライン名)	—	—			設備名	—	海水ポンプ室			浸水防護上の 区分番号	—	EL-0,80 n				浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			<p>工事の計画の「海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋1,2,3」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数3」と整合している。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）の⑧(3)(ii)a-⑦では、「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」の兼用を記載しており、工事の計画においては「2. 内郭浸水防護設備」として整理しており整合している。</p>	
変更前			変更後																																																														
名称			海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋1,2,3																																																														
種別	種	—	浸水防止蓋																																																														
主要寸法	たて	m	1500*																																																														
	幅	m	850*																																																														
	厚さ	m	18.0*																																																														
取付箇所	材質	—	SUS304																																																														
	系統名 (ライン名)	—	—																																																														
	設備名	—	海水ポンプ室																																																														
	浸水防護上の 区分番号	—	EL-0,80 n																																																														
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—																																																														



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																
<p>緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋<sup>ア</sup>(3)(ii)a-⑧                      …(「ヌ(3)(ii)b…内部溢水に対する防護設備」…と兼用)…                      個…数…1</p>	<p>10.6.1.2 重大事故等対処施設                      10.6.1.2.3 主要設備                      (14) 緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋                      緊急用海水ポンプ点検用開口部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失しない設計とするため、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋を設置する。緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重、その他自然条件（積雪等）及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(18) 緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>種類</td> <td>浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> </tr> </table>	種類	浸水防止蓋	材料	ステンレス鋼	個数	1	<p>1.3 津波防護対策                      (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）                      a. 基準津波による影響防止                      (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策                      &lt;中略&gt;</p> <p>評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルパト原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高圧電源装置用カルパト（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。</p> <p>また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td></td> <td style="text-align: center;">緊急用海水ポンプ点検用 開口部浸水防止蓋<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td></td> <td style="text-align: center;">浸水防止蓋</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td style="text-align: center;">全 高</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2740<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幅</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">6720<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">スキップレート厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">342<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">スキップレート厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">12.0<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td></td> <td style="text-align: center;">SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">系 統 名 称 ( ラ イ ン 名 )</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 区 画</td> <td></td> <td style="text-align: center;">緊急用海水ポンプビット H. 8.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">備 考</td> <td style="text-align: center;">浸 水 防 護 上 の 区 画</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 高 さ の 要 求 高 さ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ①：内郭浸水防護設備と兼用する。                      ②：公称寸法を示す。                      ③：内郭浸水防護設備に使用する場合の取付事項。</p> <p style="text-align: center;"><b>ア(3)(ii)a-⑧</b></p>			変更前	変更後	名 称	種 別		緊急用海水ポンプ点検用 開口部浸水防止蓋 <sup>※1</sup>	種 別		浸水防止蓋	主 要 寸 法	全 高	mm	2740 <sup>※2</sup>	幅	mm	6720 <sup>※2</sup>	スキップレート厚さ	mm	342 <sup>※2</sup>	スキップレート厚さ	mm	12.0 <sup>※2</sup>	材 質	種 別		SUS304	取 付 箇 所	系 統 名 称 ( ラ イ ン 名 )		-	設 置 区 画		緊急用海水ポンプビット H. 8.00 m	備 考	浸 水 防 護 上 の 区 画		-	設 置 高 さ の 要 求 高 さ		-	<p style="text-align: right;">【6条26】</p> <p style="text-align: right;">【51条25】</p>	<p>工事の計画の「緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>工事の計画の <b>ア(3)(ii)a-⑧</b>は、設置変更許可申請書（本文）の <b>ア(3)(ii)a-⑧</b>と同義であり整合している。</p>
種類	浸水防止蓋																																																			
材料	ステンレス鋼																																																			
個数	1																																																			
		変更前	変更後																																																	
名 称	種 別		緊急用海水ポンプ点検用 開口部浸水防止蓋 <sup>※1</sup>																																																	
	種 別		浸水防止蓋																																																	
主 要 寸 法	全 高	mm	2740 <sup>※2</sup>																																																	
	幅	mm	6720 <sup>※2</sup>																																																	
	スキップレート厚さ	mm	342 <sup>※2</sup>																																																	
	スキップレート厚さ	mm	12.0 <sup>※2</sup>																																																	
材 質	種 別		SUS304																																																	
取 付 箇 所	系 統 名 称 ( ラ イ ン 名 )		-																																																	
	設 置 区 画		緊急用海水ポンプビット H. 8.00 m																																																	
備 考	浸 水 防 護 上 の 区 画		-																																																	
	設 置 高 さ の 要 求 高 さ		-																																																	



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																														
<p>緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋(3)(ii)a-⑨(「ス(3)(ii)b...内部溢水に対する防護設備」と兼用)... 個数.....1</p>	<p>10.6.1.2.3 主要設備 (15) 緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋 緊急用海水ポンプ室人員用開口部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（津波防護施設、浸水防止設備、津波監視設備及び非常用取水設備を除く。）が機能喪失しない設計とするため、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋を設置する。緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重、その他自然条件（積雪等）及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (19) 緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逆流防止蓋</td> <td>ステンレス鋼</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料	個数	逆流防止蓋	ステンレス鋼	1	<p>1.3 津波防護対策 (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護） a. 基準津波による影響防止 (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策 &lt;中略&gt; 評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルパート原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高圧電源装置用カルパート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。 また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。 &lt;中略&gt; 【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>名称</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋*<!--1</td--> <td></td> <td>浸水防止蓋</td> <td></td> </td></tr> <tr> <td>寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1370*<!--2</td--> <td></td> </td></tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1870*<!--2</td--> <td></td> </td></tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>160**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンプレート厚さ</td> <td>mm</td> <td>10.0**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td></td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>系統名</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(ライン名)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td>緊急用海水ポンプ室 H. 8.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の母管</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p>【(3)(ii)a-⑨】</p>	変更前		変更後		名称	仕様	名称	仕様	緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋* 1</td <td></td> <td>浸水防止蓋</td> <td></td>		浸水防止蓋		寸法				高さ	mm	1370* 2</td <td></td>		幅	mm	1870* 2</td <td></td>		厚さ	mm	160**		ステンプレート厚さ	mm	10.0**		材質			SUS304	系統名			-	(ライン名)			-	取付箇所			緊急用海水ポンプ室 H. 8.00 m	浸水防護上の母管			-	配管が必要な高さ			-	<p>工事の計画の「緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>工事の計画の【(3)(ii)a-⑨】は、設置変更許可申請書（本文）の【(3)(ii)a-⑨】と同義であり整合している。</p>	<p>【6条26】</p> <p>【51条25】</p>
種類	材料	個数																																																																
逆流防止蓋	ステンレス鋼	1																																																																
変更前		変更後																																																																
名称	仕様	名称	仕様																																																															
緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋* 1</td <td></td> <td>浸水防止蓋</td> <td></td>		浸水防止蓋																																																																
寸法																																																																		
高さ	mm	1370* 2</td <td></td>																																																																
幅	mm	1870* 2</td <td></td>																																																																
厚さ	mm	160**																																																																
ステンプレート厚さ	mm	10.0**																																																																
材質			SUS304																																																															
系統名			-																																																															
(ライン名)			-																																																															
取付箇所			緊急用海水ポンプ室 H. 8.00 m																																																															
浸水防護上の母管			-																																																															
配管が必要な高さ			-																																																															

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																		
<p>格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ  <math>\text{③(ii)a-⑩}</math>（「<math>\text{③(ii).b}</math>」内部溢水に対する防護設備」と兼用）                      個.....数.....2</p>	<p>10.6.1.2.3 主要設備                      (16) 格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ                      緊急用海水ポンプ点検用開口部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（津波防護施設、浸水防止設備、津波監視設備及び非常用取水設備を除く。）が機能喪失しない設計とするため、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋を設置する。緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋の設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重、その他自然条件（積雪等）及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様                      (20) 格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ                      種類 水密ハッチ                      材料 炭素鋼                      個.....数.....2</p>	<p>1.3 津波防護対策                      (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）                      a. 基準津波による影響防止                      (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策                      &lt;中略&gt;                      また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。                      &lt;中略&gt;  <b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1240 614 1727 1197"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">種 別</td> <td colspan="2">格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">点検用水密ハッチB*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">水密ハッチ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>た</td> <td>て</td> <td>mm</td> <td>2550<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>2320<sup>#2</sup></td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>30<sup>#2</sup></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>外 径</td> <td>mm</td> <td>760<sup>#2</sup></td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>22<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>蓋</td> <td>板</td> <td>-</td> <td>SI S204</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>扉</td> <td>-</td> <td>SI S204</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系 統 名 （ライン名）</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>格納容器圧力逃がし装置格納槽 LL 5.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">注 記</td> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 必 要 な 高 さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記                      *1: 内郭浸水防護設備と共用する。                      *2: 公称値を示す。</p> <p><math>\text{③(ii)a-⑩}</math></p>	名 称			変更前	変更後	種 別	格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA*				点検用水密ハッチB*				水密ハッチ				主 要 寸 法	た	て	mm	2550 <sup>#1</sup>	横	幅	mm	2320 <sup>#2</sup>	厚	さ	mm	30 <sup>#2</sup>	小	外 径	mm	760 <sup>#2</sup>	厚	さ	mm	22 <sup>#1</sup>	材 料	蓋	板	-	SI S204	小	扉	-	SI S204	取 付 箇 所	系 統 名 （ライン名）		-	-	設 置 床	-	-	格納容器圧力逃がし装置格納槽 LL 5.00 m	注 記	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-	-	-	溢 水 防 護 上 の 配 慮 必 要 な 高 さ	-	-	-	<p>工事の計画の「格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA」、「格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチB」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数2」と整合している。</p> <p>工事の計画の<math>\text{③(ii)a-⑩}</math>は、設置変更許可申請書（本文）の<math>\text{③(ii)a-⑩}</math>と同義であり整合している。</p>	<p>【51条25】</p>
名 称			変更前	変更後																																																																		
種 別	格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA*																																																																					
	点検用水密ハッチB*																																																																					
	水密ハッチ																																																																					
主 要 寸 法	た	て	mm	2550 <sup>#1</sup>																																																																		
	横	幅	mm	2320 <sup>#2</sup>																																																																		
	厚	さ	mm	30 <sup>#2</sup>																																																																		
	小	外 径	mm	760 <sup>#2</sup>																																																																		
	厚	さ	mm	22 <sup>#1</sup>																																																																		
材 料	蓋	板	-	SI S204																																																																		
	小	扉	-	SI S204																																																																		
取 付 箇 所	系 統 名 （ライン名）		-	-																																																																		
	設 置 床	-	-	格納容器圧力逃がし装置格納槽 LL 5.00 m																																																																		
注 記	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-	-	-																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 必 要 な 高 さ	-	-	-																																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変 更 前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主 要 寸 法</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">高</td> <td>た</td> <td>mm</td> <td>格納容器圧力設計装置格納構 造用木部ハッチ<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>で</td> <td>mm</td> <td>水密ハッチ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">板</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2130<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>mm</td> <td>2620<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">小</td> <td>外</td> <td>mm</td> <td>30<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>径</td> <td>mm</td> <td>760<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">厚</td> <td>小</td> <td>mm</td> <td>22<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">材 料</td> <td>蓋</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>屏</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>格納容器圧力設計装置格納構 造 E1. 8.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：内部溢水防護設備と共用する。 *2：公称値を示す。 *3：内部溢水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p>⑧(3)(ii)a-⑩</p>	名 称			変 更 前	変 更 後	主 要 寸 法	高	た	mm	格納容器圧力設計装置格納構 造用木部ハッチ <sup>*1</sup>	で	mm	水密ハッチ	板	横	mm	2130 <sup>*2</sup>	厚	mm	2620 <sup>*2</sup>	小	外	mm	30 <sup>*2</sup>	径	mm	760 <sup>*2</sup>	厚	小	mm	22 <sup>*2</sup>	大	mm	—	材 料	蓋	板	—	SUS304	小	屏	—	SUS304	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	—	—	設 置 床	—	—	格納容器圧力設計装置格納構 造 E1. 8.00 m	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	—		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	—		
名 称			変 更 前	変 更 後																																																													
主 要 寸 法	高	た	mm	格納容器圧力設計装置格納構 造用木部ハッチ <sup>*1</sup>																																																													
		で	mm	水密ハッチ																																																													
	板	横	mm	2130 <sup>*2</sup>																																																													
		厚	mm	2620 <sup>*2</sup>																																																													
	小	外	mm	30 <sup>*2</sup>																																																													
		径	mm	760 <sup>*2</sup>																																																													
	厚	小	mm	22 <sup>*2</sup>																																																													
		大	mm	—																																																													
	材 料	蓋	板	—	SUS304																																																												
		小	屏	—	SUS304																																																												
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	—	—																																																													
	設 置 床	—	—	格納容器圧力設計装置格納構 造 E1. 8.00 m																																																													
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	—																																																													
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	—																																																													

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																								
<p>常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(3)(ii)a-⑩</span> (「<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(3)(ii)b</span>」内部溢水に対する防護設備」と兼用)...</p> <p>個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.2.3 主要設備</p> <p>(17) 常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ</p> <p>常設低圧代替注水系格納槽点検用開口部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（津波防護施設、浸水防止設備、津波監視設備及び非常用取水設備を除く。）が機能喪失しない設計とするため、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチを設置する。常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチの設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重、その他自然条件（積雪等）及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(21) 常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">種類</td> <td>水密ハッチ</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>炭素鋼</td> </tr> <tr> <td>個.....数.....</td> <td>1</td> </tr> </table>	種類	水密ハッチ	材料	炭素鋼	個.....数.....	1	<p>1.3 津波防護対策</p> <p>(3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）</p> <p>a. 基準津波による影響防止</p> <p>(b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">名</td> <td>種</td> <td></td> <td>常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ*</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td></td> <td>水密ハッチ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">寸法</td> <td>た</td> <td>mm</td> <td>3080**</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>3320**</td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>mm</td> <td>30**</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>760**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">材料</td> <td>大</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>22**</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>板</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取付箇所</td> <td>小</td> <td>径</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">備考</td> <td colspan="2">(ライシネ)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.06 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の</td> <td>区</td> <td>画</td> <td>番</td> <td>号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の</td> <td>配</td> <td>慮</td> <td>が</td> <td>必</td> <td>要</td> <td>な</td> <td>事</td> <td>項</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>計記 *1: 内郭浸水防護設備と兼用する。 *2: 公称値を示す。 *3: 内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(3)(ii)a-⑩</span></p>			変更前	変更後	名	種		常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ*	類		水密ハッチ	寸法	た	mm	3080**	幅	mm	3320**	厚	mm	30**	小	径	mm	760**	材料	大	径	mm	22**	種	板	SUS304	取付箇所	小	径	SUS304	系	統	名	—	備考	(ライシネ)		—	設	置	床	常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.06 m	浸水防護上の	区	画	番	号	—		浸水防護上の	配	慮	が	必	要	な	事	項	—	<p>工事の計画の「常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>工事の計画の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(3)(ii)a-⑩</span> は、設置変更許可申請書（本文）の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(3)(ii)a-⑩</span> と同義であり整合している。</p>	<p style="color: blue;">【51条25】</p>
種類	水密ハッチ																																																																											
材料	炭素鋼																																																																											
個.....数.....	1																																																																											
		変更前	変更後																																																																									
名	種		常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ*																																																																									
	類		水密ハッチ																																																																									
寸法	た	mm	3080**																																																																									
	幅	mm	3320**																																																																									
	厚	mm	30**																																																																									
	小	径	mm	760**																																																																								
材料	大	径	mm	22**																																																																								
	種	板	SUS304																																																																									
取付箇所	小	径	SUS304																																																																									
	系	統	名	—																																																																								
備考	(ライシネ)		—																																																																									
	設	置	床	常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.06 m																																																																								
	浸水防護上の	区	画	番	号	—																																																																						
	浸水防護上の	配	慮	が	必	要	な	事	項	—																																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																													
<p>常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチ<sup>㊦</sup>  <sup>㊦</sup>(3)(ii)a-<sup>㊦</sup>...内部溢水に対する防護設備<sup>㊦</sup>と兼用<sup>㊦</sup>...            個.....数.....2</p>	<p>10.6.1.2.3 主要設備            (18) 常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチ            常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用開口部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（津波防護施設、浸水防止設備、津波監視設備及び非常用取水設備を除く。）が機能喪失しない設計とするため、常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する。<u>常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチ</u>の設計においては、基準地震動Ssによる地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重、その他自然条件（積雪等）及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様            (22) 常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチ</p> <table border="1" data-bbox="705 694 996 774"> <tr> <td>種類</td> <td>水密ハッチ</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>炭素鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> </table>	種類	水密ハッチ	材料	炭素鋼	個数	2	<p>1.3 津波防護対策            (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）            a. 基準津波による影響防止            (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策            &lt;中略&gt;            また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。            &lt;中略&gt;</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 694 1736 1165"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名</td> <td>種</td> <td></td> <td>常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA、B<sup>㊦</sup></td> </tr> <tr> <td>種</td> <td></td> <td>水密ハッチ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2580<sup>㊦2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2320<sup>㊦2</sup></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>30<sup>㊦2</sup></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>炭素鋼板</td> <td></td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系名（ライン名）</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置区画</td> <td></td> <td>常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">注</td> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ①: ①は浸水防護設備の区画番号を示す。            *2: 公称値を示す。            *3: 内部浸水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p>㊦(3)(ii)a-<sup>㊦</sup></p>			変更前	変更後	名	種		常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA、B <sup>㊦</sup>	種		水密ハッチ	寸法	たて	mm	2580 <sup>㊦2</sup>	横	mm	2320 <sup>㊦2</sup>	厚さ	mm	30 <sup>㊦2</sup>	材料	炭素鋼板		SUS304	取付箇所	系名（ライン名）		-	設置区画		常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.00 m	注	浸水防護上の区画番号		-	溢水防護上の区画番号		-	<p>工事の計画の「常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA、B」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数2」と整合している。</p> <p>工事の計画の<sup>㊦</sup>(3)(ii)a-<sup>㊦</sup>は、設置変更許可申請書（本文）の<sup>㊦</sup>(3)(ii)a-<sup>㊦</sup>と同義であり整合している。</p>	<p>【51条25】</p>
種類	水密ハッチ																																																
材料	炭素鋼																																																
個数	2																																																
		変更前	変更後																																														
名	種		常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA、B <sup>㊦</sup>																																														
	種		水密ハッチ																																														
寸法	たて	mm	2580 <sup>㊦2</sup>																																														
	横	mm	2320 <sup>㊦2</sup>																																														
	厚さ	mm	30 <sup>㊦2</sup>																																														
材料	炭素鋼板		SUS304																																														
取付箇所	系名（ライン名）		-																																														
	設置区画		常設低圧代替注水系格納槽 EL. 8.00 m																																														
注	浸水防護上の区画番号		-																																														
	溢水防護上の区画番号		-																																														

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																
<p>常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉<sup>ア</sup>  <sup>ア</sup>(3)(ii)a-<sup>㊸</sup>（「ヌ(3)(ii).b」内部溢水に対する防護設備<sup>イ</sup>と兼用）                      個数.....1</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備                      (14) 常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉                      常設代替高圧電源装置用カルバートの立坑部の開口部から浸水防護重点化範囲への溢水の流入を防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、<b>常設代替高圧電源装置用カルバートの立坑部の開口部に水密扉を設置する。</b>常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様                      (23) 常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉</p> <table border="1" data-bbox="705 877 952 965"> <tr> <td>種類</td> <td>水密扉</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>炭素鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> </tr> </table>	種類	水密扉	材料	炭素鋼	個数	1	<p>1.3 津波防護対策                      (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護）                      a. 基準津波による影響防止                      (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策                      &lt;中略&gt;                      評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。                      また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。                      &lt;中略&gt;  <b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 885 1736 1348"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種別</td> <td>扉</td> <td>—</td> <td>常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉<sup>ア</sup></td> </tr> <tr> <td>戸開き扉</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寸法</td> <td>高さ</td> <td>—</td> <td>3140<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>—</td> <td>2100<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>扉</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付位置</td> <td>系（ライン系）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>—</td> <td>常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部） EL:2.70 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の区分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">許容</td> <td>浸水防護上の区分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の区分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：内郭浸水防護設備と兼用する。                      注2：公称値を示す。                      注3：内郭浸水防護設備と併用する場合は、内郭側の設計基準を適用する。</p> <p><sup>ア</sup>(3)(ii)a-<sup>㊸</sup></p>			変更前	変更後	種別	扉	—	常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉 <sup>ア</sup>	戸開き扉	—	—	寸法	高さ	—	3140 <sup>※1</sup>	幅	—	2100 <sup>※1</sup>	材料	扉	—	SUS304	材	—	SUS304	取付位置	系（ライン系）	—	—	設備	—	常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部） EL:2.70 m	浸水防護上の区分	—	—	許容	浸水防護上の区分	—	—	浸水防護上の区分	—	—	<p>工事の計画の「常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>工事の計画の<sup>ア</sup>(3)(ii)a-<sup>㊸</sup>は、設置変更許可申請書（本文）の<sup>ア</sup>(3)(ii)a-<sup>㊸</sup>と同義であり整合している。</p>	<p>【6条26】                      【51条25】</p>
種類	水密扉																																																			
材料	炭素鋼																																																			
個数	1																																																			
		変更前	変更後																																																	
種別	扉	—	常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉 <sup>ア</sup>																																																	
	戸開き扉	—	—																																																	
寸法	高さ	—	3140 <sup>※1</sup>																																																	
	幅	—	2100 <sup>※1</sup>																																																	
材料	扉	—	SUS304																																																	
	材	—	SUS304																																																	
取付位置	系（ライン系）	—	—																																																	
	設備	—	常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部） EL:2.70 m																																																	
	浸水防護上の区分	—	—																																																	
許容	浸水防護上の区分	—	—																																																	
	浸水防護上の区分	—	—																																																	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>原子炉建屋原子炉棟水密扉 個.....数.....1</p>	<p>10.6.1.3.3 主要設備 (14) 原子炉建屋原子炉棟水密扉，原子炉建屋付属棟北側水密扉1，原子炉建屋付属棟北側水密扉2，原子炉建屋付属棟東側水密扉，原子炉建屋付属棟南側水密扉及び原子炉建屋付属棟西側水密扉 原子炉建屋1階外壁の扉等の開口部から原子炉建屋内に敷地に遡上する津波及び溢水が地上部から流入することを防止し，原子炉建屋に内包する敷地に遡上する津波に対する防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため，原子炉建屋外壁の扉等の開口部に水密扉を設置する。 原子炉建屋外壁の水密扉の設計においては，基準地震動S<sub>s</sub>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。 敷地に遡上する津波の地上部からの流入に対する入力津波については，原子炉建屋外壁近傍に設定した評価点において，遡上解析結果を基に保守的に設定した浸水深に，地震に伴い発生する屋外タンクからの溢水による浸水深の重量を考慮する。また，その他自然条件（積雪，風荷重等）及び余震荷重を考慮した場合において，浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。 敷地に遡上する津波の防潮堤内側への流入に伴い原子炉建屋外壁まで漂流物が到達する可能性があることから，原子炉建屋外壁に到達する可能性のある漂流物のうち最も重量のある漂流物を選定した上で漂流物衝突荷重として考慮する。</p>	<p>1.3 津波防護対策 (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護） b. 敷地に遡上する津波に対する防護対象設備を内包する建屋及び区画への浸水防止（外郭防護1） (a) 遡上波の地上部からの流入の防止 防潮堤外側及び防潮堤内側の遡上波に対し，敷地に遡上する津波に対する防護対象設備（貯留堰及び取水構造物を除く。）を内包する建屋及び区画への地上部からの到達・流入の有無を評価する。  評価の結果，敷地に遡上する津波は，防潮堤を越流し地上部から防護対象の建屋及び区画に到達するため，敷地に遡上する津波に対する防護対象設備（貯留堰及び取水構造物を除く。）を内包する建屋又は区画（常設代替高圧電源装置置場（西側淡水貯水設備，高所東側接続口，高所西側接続口，西側S A立坑，東側D B立坑，軽油貯蔵タンクを含む。），緊急時対策所建屋，可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）を除く。）に対する津波防護施設として，原子炉建屋外壁並びに原子炉建屋原子炉棟水密扉，原子炉建屋付属棟西側水密扉，原子炉建屋付属棟東側水密扉，原子炉建屋付属棟南側水密扉，原子炉建屋付属棟北側水密扉1及び原子炉建屋付属棟北側水密扉2（以下「原子炉建屋水密扉」という。）を設置する設計とする。  また，浸水防止設備として，原子炉建屋水密扉，緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋，緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋，格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ，常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ，常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチ，常設代替高圧電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉を設置する。 原子炉建屋1階の貫通部及び常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部）の地下1階床面貫通部に対しては止水処置を実施する。  敷地に遡上する津波に対する防護対象設備（貯留堰及び取水構造物を除く。）を内包する建屋及び区画のうち，T.P. +11 m以上の標高の敷地に設置する常設代替高圧電源装置置場（西側淡水貯水設備，高所東側接続口，高所西側接続口，西側S A立坑，東側D B立坑，軽油貯蔵タンクを含む。），緊急時対策所建屋及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）は，敷地に遡上する津波による遡上波が地上部から到達，流入しない十分高い場所に設置する設計とする。</p>		<p>【54条18】</p> <p>【54条19】</p> <p>【54条20】</p> <p>【54条21】</p>



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																	
	<p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(24) <u>原子炉建屋原子炉棟水密扉</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">種類</td> <td style="width: 33%;">水密扉</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>炭素鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	種類	水密扉		材料	炭素鋼		個数	1		<p>防潮扉の管理は、基準津波に対する管理と同じである。</p> <p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">名称</td> <td>種別</td> <td>-</td> <td>原子炉建屋原子炉棟水密扉<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>-</td> <td>戸開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>■</td> <td>5585<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>■</td> <td>5190<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">材料</td> <td>扉</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">取付箇所</td> <td>系（ライン名）</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置区</td> <td>未</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 H. 8.20<sup>※3</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">注水防護上の留意事項</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">注水防護上の留意事項</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;"> <sup>※1</sup>: 内部浸水防護設備と兼用する。  <sup>※2</sup>: 公称値を示す。  <sup>※3</sup>: 外郭浸水防護設備に使用する適合の記載事項。         </p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)a-⑭</p>			変更前	変更後	名称	種別	-	原子炉建屋原子炉棟水密扉 <sup>※1</sup>	寸法	-	戸開き扉	主要寸法	高さ	■	5585 <sup>※2</sup>	幅	■	5190 <sup>※2</sup>	材料	扉	-	SS400	芯材	-	SS400	取付箇所	系（ライン名）	-	-	設置区	未	原子炉建屋原子炉棟 H. 8.20 <sup>※3</sup>	注水防護上の留意事項		-		注水防護上の留意事項		-		<p>工事の計画の「原子炉建屋原子炉棟水密扉」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>又(3)(ii)a-⑭については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	<p style="color: blue;">【54条22】</p>
種類	水密扉																																																				
材料	炭素鋼																																																				
個数	1																																																				
		変更前	変更後																																																		
名称	種別	-	原子炉建屋原子炉棟水密扉 <sup>※1</sup>																																																		
	寸法	-	戸開き扉																																																		
主要寸法	高さ	■	5585 <sup>※2</sup>																																																		
	幅	■	5190 <sup>※2</sup>																																																		
材料	扉	-	SS400																																																		
	芯材	-	SS400																																																		
取付箇所	系（ライン名）	-	-																																																		
	設置区	未	原子炉建屋原子炉棟 H. 8.20 <sup>※3</sup>																																																		
注水防護上の留意事項		-																																																			
注水防護上の留意事項		-																																																			



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																							
<p>原子炉建屋付属棟東側水密扉 個.....数.....1</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (25) 原子炉建屋付属棟東側水密扉 種類 水密扉 材料 炭素鋼 個.....数.....1</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>型</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋付属棟東側水密扉*</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>2025**</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>mm</td> <td>1600**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材質</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>棒</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系（ライン系）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>床</td> <td>原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置区</td> <td>浸水防護上の母</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p style="text-align: center;">x(3)(ii)a-15</p>	名称		変更前	変更後	種	型	—	原子炉建屋付属棟東側水密扉*	寸法	—	片開き扉	主要寸法	幅	mm	2025**	高	mm	1600**	材質	板	—	SUS304	棒	—	SUS304	取付箇所	系（ライン系）	—	—	設備	床	原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画	設置区	浸水防護上の母	—	—	浸水防護上の配管が必要な高さ	—	—	<p>工事の計画の「原子炉建屋付属棟東側水密扉」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>x(3)(ii)a-15については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																								
種	型	—	原子炉建屋付属棟東側水密扉*																																								
	寸法	—	片開き扉																																								
主要寸法	幅	mm	2025**																																								
	高	mm	1600**																																								
材質	板	—	SUS304																																								
	棒	—	SUS304																																								
取付箇所	系（ライン系）	—	—																																								
	設備	床	原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画																																								
設置区	浸水防護上の母	—	—																																								
	浸水防護上の配管が必要な高さ	—	—																																								
<p>原子炉建屋付属棟西側水密扉 個.....数.....1</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (26) 原子炉建屋付属棟西側水密扉 種類 水密扉 材料 炭素鋼 個.....数.....1</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>型</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋付属棟西側水密扉*</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1640**</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>mm</td> <td>1005**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材質</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>S5400</td> </tr> <tr> <td>棒</td> <td>—</td> <td>S5400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系（ライン系）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>床</td> <td>原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置区</td> <td>浸水防護上の母</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。</p> <p style="text-align: center;">x(3)(ii)a-16</p>	名称		変更前	変更後	種	型	—	原子炉建屋付属棟西側水密扉*	寸法	—	片開き扉	主要寸法	幅	mm	1640**	高	mm	1005**	材質	板	—	S5400	棒	—	S5400	取付箇所	系（ライン系）	—	—	設備	床	原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画	設置区	浸水防護上の母	—	—	浸水防護上の配管が必要な高さ	—	—	<p>工事の計画の「原子炉建屋付属棟西側水密扉」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>x(3)(ii)a-16については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																								
種	型	—	原子炉建屋付属棟西側水密扉*																																								
	寸法	—	片開き扉																																								
主要寸法	幅	mm	1640**																																								
	高	mm	1005**																																								
材質	板	—	S5400																																								
	棒	—	S5400																																								
取付箇所	系（ライン系）	—	—																																								
	設備	床	原子炉建屋付属棟 H. 8.20 画																																								
設置区	浸水防護上の母	—	—																																								
	浸水防護上の配管が必要な高さ	—	—																																								

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																														
<p>原子炉建屋付属棟南側水密扉 個.....数.....1</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (27) 原子炉建屋付属棟南側水密扉 種類 水密扉 材料 炭素鋼 個.....数.....1</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>原子炉建屋付属棟南側水密扉*<!--1</td--> </td></tr> <tr> <td>幅</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>—</td> <td>2045*2</td> </tr> <tr> <td>材厚</td> <td>—</td> <td>1530*2</td> </tr> <tr> <td>材種</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>※1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>※2</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td>※3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>江注 *1：浸水防護設備と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：内郭浸水防護設備に使用する場合は記載事項。</p> <p style="text-align: center;">㊦(3)(ii)a-⑰</p>	変更前		変更後	名称		原子炉建屋付属棟南側水密扉* 1</td	幅	—	片開き扉	主要寸法	—	2045*2	材厚	—	1530*2	材種	—	SS400	取付箇所	—	SS400	※1	—	—	※2	—	原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m	※3	—	—	<p>工事の計画の「原子炉建屋付属棟南側水密扉」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>㊦(3)(ii)a-⑰については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	
変更前		変更後																																
名称		原子炉建屋付属棟南側水密扉* 1</td																																
幅	—	片開き扉																																
主要寸法	—	2045*2																																
材厚	—	1530*2																																
材種	—	SS400																																
取付箇所	—	SS400																																
※1	—	—																																
※2	—	原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m																																
※3	—	—																																
<p>原子炉建屋付属棟北側水密扉 1 個.....数.....1</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (28) 原子炉建屋付属棟北側水密扉 1 種類 水密扉 材料 炭素鋼 個.....数.....1</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>原子炉建屋付属棟北側水密扉*<!--1</td--> </td></tr> <tr> <td>幅</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>—</td> <td>2040*2</td> </tr> <tr> <td>材厚</td> <td>—</td> <td>1020*2</td> </tr> <tr> <td>材種</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>※1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>※2</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td>※3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>江注 *1：内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：内郭浸水防護設備に使用する場合は記載事項。</p> <p style="text-align: center;">㊦(3)(ii)a-⑱</p>	変更前		変更後	名称		原子炉建屋付属棟北側水密扉* 1</td	幅	—	片開き扉	主要寸法	—	2040*2	材厚	—	1020*2	材種	—	SS400	取付箇所	—	SS400	※1	—	—	※2	—	原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m	※3	—	—	<p>工事の計画の「原子炉建屋付属棟北側水密扉 1」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>㊦(3)(ii)a-⑱については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	
変更前		変更後																																
名称		原子炉建屋付属棟北側水密扉* 1</td																																
幅	—	片開き扉																																
主要寸法	—	2040*2																																
材厚	—	1020*2																																
材種	—	SS400																																
取付箇所	—	SS400																																
※1	—	—																																
※2	—	原子炉建屋付属棟 E.L. 8.20 m																																
※3	—	—																																

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																				
<p>原子炉建屋付属棟北側水密扉 2 個.....数.....1</p> <p>防潮堤及び防潮扉下部貫通部止水処置 ...(防潮堤及び防潮扉の地下部の貫通部の止水処置を示す)... 個.....数.....一式</p>	<p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (29) <u>原子炉建屋付属棟北側水密扉 2</u> 種類 水密扉 材料 炭素鋼 個.....数.....1</p> <p>10.6.1.1.3 主要設備 (15) 防潮堤及び防潮扉下部貫通部止水処置 津波が防潮堤及び防潮扉下部貫通部から津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）の設置された敷地に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、防潮堤及び防潮扉下部貫通部に止水処置を実施する。<u>防潮堤及び防潮扉下部貫通部止水処置</u>の設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、浸水時の波圧等に対する耐性を評価し、入力津波に対して浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。設計に当たっては、地震（余震）との組合せを適切に考慮する。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様 (30) <u>防潮堤及び防潮扉下部貫通部止水処置</u> 種類 貫通部止水 材料 シール材 個.....数.....一式</p>	<p>【浸水防護施設】（要目表） 1. 外郭浸水防護設備</p> <table border="1" data-bbox="1243 268 1736 715"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟北側水密扉 2台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>片側さば</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>—</td> <td>2040<sup>mm</sup></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>—</td> <td>1000<sup>mm</sup></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>材 種</td> <td>—</td> <td>SS300</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>SS300</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋付属棟 LL 8.20 m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：内部浸水防護施設と表示する。 *2：公称寸法を示す。 *3：内部浸水防護設備に使用する場合は記載事項。</p> <p>Ⅹ(3)(ii)a-19</p> <p>1.3 津波防護対策 (1) 敷地への浸水防止（外郭防護1） a. 基準津波に対する敷地への浸水防止（外郭防護1） b) 取水路、放水路等の経路からの津波の流入防止</p> <p>&lt;中略&gt; 評価の結果、流入する可能性のある経路が特定されたことから、基準津波に対する津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）を内包する建屋又は区画の設置された敷地並びに建屋及び区画への流入を防止するため、津波防護施設として放水路ゲート及び構内排水路逆流防止設備を設置するとともに、浸水防止設備として取水路点検用開口部浸水防止蓋、海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁、取水ビット空気抜き配管逆止弁、放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋、SA用海水ビット開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁及び緊急用海水ポンプ室床 dren 排出口逆止弁の設置並びに防潮堤及び防潮扉下部貫通部の止水処置を実施する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	変更前		変更後		名 称		原子炉建屋付属棟北側水密扉 2台		種 類	—	片側さば	—	主要寸法	—	2040 <sup>mm</sup>	—	材 質	—	1000 <sup>mm</sup>	—	材 種	—	SS300	—	取付箇所	—	SS300	—	取付箇所	—	原子炉建屋付属棟 LL 8.20 m	—	取付箇所	—	—	—	<p>工事の計画の「原子炉建屋付属棟北側水密扉 2」は、個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数1」と整合している。</p> <p>Ⅹ(3)(ii)a-19については、設置変更許可申請書（本文）において「a. 津波に対する防護設備」と「b. 内部溢水に対する防護設備」との兼用はなく、工事の計画においては「1. 外郭浸水防護設備」と「2. 内郭浸水防護設備」の兼用を記載しており整合している。</p>	<p>【6条19】 【51条18】</p>
変更前		変更後																																						
名 称		原子炉建屋付属棟北側水密扉 2台																																						
種 類	—	片側さば	—																																					
主要寸法	—	2040 <sup>mm</sup>	—																																					
材 質	—	1000 <sup>mm</sup>	—																																					
材 種	—	SS300	—																																					
取付箇所	—	SS300	—																																					
取付箇所	—	原子炉建屋付属棟 LL 8.20 m	—																																					
取付箇所	—	—	—																																					

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考						
<p>海水ポンプ室貫通部止水処置 <u>表(3)(ii)a-②</u>（「<u>表(3)(ii)b</u>…内部溢水に対する防護設備」と兼用） 個数 一式</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (16) 海水ポンプ室貫通部止水処置 地震による循環水ポンプ室内の循環水系配管の損傷に伴い溢水する保有水及び損傷箇所を介して流入する津波が、浸水防護重点化範囲である海水ポンプ室に流入することを防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、海水ポンプ室の浸水経路となりえる貫通部に貫通部止水処置を実施する。<u>海水ポンプ室貫通部止水処置</u>の設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(31) <u>海水ポンプ室貫通部止水処置</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>種類</td> <td>貫通部止水</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>シール材</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>一式</td> </tr> </table>	種類	貫通部止水	材料	シール材	個数	一式	<p>1.3 津波防護対策 (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護） a. 基準津波による影響防止 (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策 &lt;中略&gt; 評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルパート原子炉建屋側水密扉の設置並びに<u>海水ポンプ室貫通部止水処置</u>、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高圧電源装置用カルパート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。 また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>工事の計画の「海水ポンプ室貫通部止水処置」は、個数一式を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数一式」と整合している。</p> <p>「海水ポンプ室貫通部止水処置」は、設置変更許可申請書（本文）における <u>表(3)(ii)a-②</u> を工事の計画における主たる登録として「浸水防護施設」のうち「基本設計方針」に整理しており整合している。</p>	<p style="text-align: right;">【6条26】</p> <p style="text-align: right;">【51条25】</p>
種類	貫通部止水									
材料	シール材									
個数	一式									
<p>原子炉建屋境界貫通部止水処置 <u>表(3)(ii)a-②</u>（「<u>表(3)(ii)b</u>…内部溢水に対する防護設備」と兼用） 個数 一式</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備 (17) 原子炉建屋境界貫通部止水処置 タービン建屋及び非常用海水系配管カルパートと隣接する原子炉建屋地下階の貫通部から浸水防護重点化範囲への溢水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することのない設計とするため、原子炉建屋境界の貫通部に止水処置を実施する。<u>原子炉建屋境界貫通部止水処置</u>の設計においては、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、溢水による静水圧として作用する荷重及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p style="text-align: center;">第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様</p> <p>(32) <u>原子炉建屋境界貫通部止水処置</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>種類</td> <td>貫通部止水</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>シール材</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>一式</td> </tr> </table>	種類	貫通部止水	材料	シール材	個数	一式	<p>1.3 津波防護対策 (3) 津波による溢水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止（内郭防護） a. 基準津波による影響防止 (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策 &lt;中略&gt; 評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋、常設代替高圧電源装置用カルパート原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、<u>原子炉建屋境界貫通部止水処置</u>及び常設代替高圧電源装置用カルパート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。 また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>工事の計画の「原子炉建屋境界貫通部止水処置」は、設置変更許可申請書（本文）の「個数一式」と整合している。</p> <p>「原子炉建屋境界貫通部止水処置」は、設置変更許可申請書（本文）における <u>表(3)(ii)a-②</u> を工事の計画における主たる登録として「浸水防護施設」のうち「基本設計方針」に整理しており整合している。</p>	<p style="text-align: right;">【6条26】</p> <p style="text-align: right;">【51条25】</p>
種類	貫通部止水									
材料	シール材									
個数	一式									

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置<math>\square</math>(3)(ii)a-②<math>\square</math>（「<math>\square</math>(3)(ii)b<math>\square</math>内部漏水に対する防護設備」<math>\square</math>と兼用)個.....数.....一式</p> <p>b. 内部漏水に対する防護設備  <math>\square</math>(3)(ii)b-①安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、<math>\square</math>(3)(ii)b-②発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）<math>\square</math>、消火系統等の作動又は使用済燃料プール等のスロッシングによる漏水が発生した場合においても、<math>\square</math>(3)(ii)b-③発電用原子炉施設内における壁、扉、堰等により、漏水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。また、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p>10.6.1.1.3 主要設備            (18) 常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置            常設代替高压電源装置用カルバートの立坑部の貫通部から浸水防護重点化範囲への漏水及び津波の流入を防止し、津波防護対象設備（非常用取水設備を除く。）が機能喪失することない設計とするため、常設代替高压電源装置用カルバートの立坑部の貫通部に止水処置を実施する。<u>常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置</u>の設計においては、基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対して浸水防止機能が十分に保持できるように設計する。また、漏水による静水圧として作用する荷重及び余震荷重を考慮した場合において、浸水防止機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>第10.6-1表 浸水防護設備主要機器仕様            (33) 常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置            種類 貫通部止水            材料 シール材            個.....数.....一式</p> <p>10.6.2 内部漏水に対する防護設備            10.6.2.1 概要  <u>発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、漏水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>10.6.2.2 設計方針            浸水防護設備は、以下の方針で設計する。            (1) 浸水防止堰は、漏水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力等の漏水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、漏水水位に対して裕度を確保する設計とする。            (2) 水密扉は、漏水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力等の漏水の要因となる事象に伴い生じる荷重</p>	<p>1.3 津波防護対策            (3) 津波による漏水の重要な安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能への影響防止<math>\square</math>（内郭防護）<math>\square</math>            a. 基準津波による影響防止            (b) 浸水防護重点化範囲の境界における浸水対策            &lt;中略&gt;            評価の結果、浸水防護重点化範囲への浸水の可能性のある経路、浸水口が特定されたことから、地震による設備の損傷箇所からの津波の流入を防止するための設計基準対象施設の浸水防止設備として、海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋、常設代替高压電源装置用カルバート原子炉建屋側水密扉の設置並びに海水ポンプ室貫通部止水処置、原子炉建屋境界貫通部止水処置及び常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置を実施する設計とする。            また、重大事故等対処施設の浸水防止設備として、設計基準対象施設の浸水防止設備に加え、緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋、緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋、格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチ、常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ及び常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチを設置する設計とする。            &lt;中略&gt;</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における漏水等による損傷の防止            2.1 漏水防護等の基本方針  <math>\square</math>(3)(ii)b-①設計基準対象施設が、<math>\square</math>発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合においても、その安全性を損なうおそれがない設計とする。</p> <p>そのために、<math>\square</math>(3)(ii)b-②漏水防護に係る設計時に発電用原子炉施設内で発生が想定される漏水の影響を評価<math>\square</math>（以下「漏水評価」という）<math>\square</math>し、運転状態にある場合は発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合においても、<math>\square</math>(3)(ii)b-③原子炉を高温停止及び、引き続き低温停止することができ、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p>工事の計画の「常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置」は、個数一式を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数一式」と整合している。</p> <p>「常設代替高压電源装置用カルバート（立坑部）貫通部止水処置」は、設置変更許可申請書（本文）における<math>\square</math>(3)(ii)a-②を工事の計画における主たる登録として「浸水防護施設」のうち「基本設計方針」に整理しており整合している。</p> <p>工事の計画の<math>\square</math>(3)(ii)b-①の「設計基準対象施設」は、設置変更許可申請書（本文）の<math>\square</math>(3)(ii)b-①の「安全施設」を含んでおり、同義であり整合している。</p> <p>工事の計画の<math>\square</math>(3)(ii)b-②は、設置変更許可申請書（本文）の<math>\square</math>(3)(ii)b-②を含んでおり整合している。</p>	<p>【6条26】</p> <p>【51条25】</p> <p>【12条1】</p>



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
	<p>や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) (1)～(2)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動<math>S_s</math>による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」を踏まえ、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を抽出し、主給水流量喪失、原子炉冷却材喪失等の運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の対処に必要な機器に対し、単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。</p> <p>これらの機能を維持するために必要な設備（以下「溢水防護対象設備」という。）が発生を想定する没水、被水及び蒸気の影響を受けて、要求される機能を損なうおそれがない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその機能を損なうおそれがない設計）とする。</p> <p>■</p> <p>溢水影響に対し防護すべき設備（以下「防護すべき設備」という。）として溢水防護対象設備及び重大事故等対処設備を設定する。</p> <p>なお、施設定期検査時については、使用済燃料プール、原子炉ウエル及びドライヤセパレータプールのスロッシングにより発生する溢水をそれぞれのプール等へ戻すことで、原子炉建屋原子炉棟 6 階よりも下層階に流下させない設計とし、原子炉建屋原子炉棟 6 階よりも下層階に設置される防護すべき設備がその機能を損なうおそれがない設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備（ポンプ、弁、使用済燃料プール、サイトバンカプール、原子炉ウエル、ドライヤセパレータプール）から放射性物質を含む液体があふれ出のおそれがある場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>溢水評価条件の変更により評価結果が影響を受けないことを確認するために、評価条件変更の都度、溢水評価を実施することとし保安規定に定めて管理する。</p>	<p>工事の計画の <math>\text{A}(3)(ii)</math> <math>\text{b-③}</math> は、設置変更許可申請書（本文）の <math>\text{A}(3)(ii)</math> <math>\text{b-③}</math> を具体的に記載しており整合している。</p>	<p>【12条2】</p> <p>■</p> <p>【12条3-1】</p> <p>【12条3-2】</p> <p>【12条4】</p> <p>【12条5】</p>

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																
<p>ㄨ(3)(ii)b-㉔原子炉建屋水密扉 個.....数.....4</p>		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㄨ(3)(ii)b-㉔</p> <p>㉔ 内郭浸水防護設備に係る次の事項 (1) 防水区画等造物の名称、種類、寸法、材料及び取付箇所</p> <table border="1" data-bbox="1245 316 1731 751"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td></td> <td>原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>1835*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>855*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>板</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>対</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>床</td> <td>原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m</td> </tr> <tr> <td>防 護 上 の 区 画</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㄨ(3)(ii)b-㉔</p> <table border="1" data-bbox="1245 911 1731 1353"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td></td> <td>原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉 北側水密扉</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>1755*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>855*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>板</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>対</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>床</td> <td>原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m</td> </tr> <tr> <td>防 護 上 の 区 画</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	変更前		変更後	名 称		原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉	種 類	—	片開き扉	主 要 寸 法	た て	1835*	幅	855*	材 質	板	SS400	取 付 箇 所	対	SS400	系 統 名 (ライン名)	—	—	取 付 箇 所	床	原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m	防 護 上 の 区 画	—	—	防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所	—	—	変更前		変更後	名 称		原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉 北側水密扉	種 類	—	片開き扉	主 要 寸 法	た て	1755*	幅	855*	材 質	板	SS400	取 付 箇 所	対	SS400	系 統 名 (ライン名)	—	—	取 付 箇 所	床	原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m	防 護 上 の 区 画	—	—	防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所	—	—	<p>工事の計画のㄨ(3)(ii)b-㉔は、設置変更許可申請書（本文）のㄨ(3)(ii)b-㉔を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の「残留熱除去系A系ポンプ室水密扉」、「原子炉隔離時冷却系室北側水密扉」、「原子炉隔離時冷却系室南側水密扉」、「高圧炉心スプレイ系ポンプ室水密扉」は、それぞれ個数1を示すものであり、設置変更許可申請書（本文）の「個数4」と整合している。</p>	
変更前		変更後																																																																		
名 称		原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉																																																																		
種 類	—	片開き扉																																																																		
主 要 寸 法	た て	1835*																																																																		
	幅	855*																																																																		
材 質	板	SS400																																																																		
取 付 箇 所	対	SS400																																																																		
系 統 名 (ライン名)	—	—																																																																		
取 付 箇 所	床	原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m																																																																		
防 護 上 の 区 画	—	—																																																																		
防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所	—	—																																																																		
変更前		変更後																																																																		
名 称		原子炉建屋水密扉 原子炉建屋水密扉 北側水密扉																																																																		
種 類	—	片開き扉																																																																		
主 要 寸 法	た て	1755*																																																																		
	幅	855*																																																																		
材 質	板	SS400																																																																		
取 付 箇 所	対	SS400																																																																		
系 統 名 (ライン名)	—	—																																																																		
取 付 箇 所	床	原子炉建屋原子炉種 別、4.00 m																																																																		
防 護 上 の 区 画	—	—																																																																		
防 護 上 の 区 画 が必要 な 箇所	—	—																																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																					
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア(3)(ii)b-④</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>-</td> <td>浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1940*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>855*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材質</td> <td>板</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系（ライン名）</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>-</td> <td>原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の配線が必要な長さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種	類	-	浸水防護設備	主要寸法	たて	mm	1940*	幅	mm	855*	材質	板	-	SS400	材	-	SS400	取付箇所	系（ライン名）	-	-	位置	-	原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m		浸水防護上の区画番号	-	-		浸水防護上の配線が必要な長さ	-	-		
名称		変更前	変更後																																						
種	類	-	浸水防護設備																																						
主要寸法	たて	mm	1940*																																						
	幅	mm	855*																																						
材質	板	-	SS400																																						
	材	-	SS400																																						
取付箇所	系（ライン名）	-	-																																						
	位置	-	原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m																																						
	浸水防護上の区画番号	-	-																																						
	浸水防護上の配線が必要な長さ	-	-																																						
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア(3)(ii)b-④</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>-</td> <td>浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1940*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>855*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材質</td> <td>板</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系（ライン名）</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>-</td> <td>原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の配線が必要な長さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種	類	-	浸水防護設備	主要寸法	たて	mm	1940*	幅	mm	855*	材質	板	-	SS400	材	-	SS400	取付箇所	系（ライン名）	-	-	位置	-	原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m		浸水防護上の区画番号	-	-		浸水防護上の配線が必要な長さ	-	-		
名称		変更前	変更後																																						
種	類	-	浸水防護設備																																						
主要寸法	たて	mm	1940*																																						
	幅	mm	855*																																						
材質	板	-	SS400																																						
	材	-	SS400																																						
取付箇所	系（ライン名）	-	-																																						
	位置	-	原・和豊岡地区中層 EL. -1.00 m																																						
	浸水防護上の区画番号	-	-																																						
	浸水防護上の配線が必要な長さ	-	-																																						



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>ㄨ(3)(ii)b-㉔) 溢水拡大防止堰 個.....数.....21</p>		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㄨ(3)(ii)b-㉔)</p> <table border="1" data-bbox="1243 263 1733 646"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>種</td> <td>—</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要 寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>地</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 座</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区 画 番号</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の 配管が必要なる高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㄨ(3)(ii)b-㉔)</p> <table border="1" data-bbox="1243 901 1733 1284"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>種</td> <td>—</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要 寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>地</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 ( ラ イ ン 名 )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 座</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区 画 番号</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の 配管が必要なる高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名	称			原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰	機	種	—		堰	主要 寸法	高	さ	mm	300以上*	材 料	地	—	—	鉄筋コンクリート	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				設 置 座	—		原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m	溢水防護上の 区 画 番号	—				溢水防護上の 配管が必要なる高さ	—						変更前	変更後	名	称			原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰	機	種	—		堰	主要 寸法	高	さ	mm	300以上*	材 料	地	—	—	鉄筋コンクリート	取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )				設 置 座	—		原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m	溢水防護上の 区 画 番号	—				溢水防護上の 配管が必要なる高さ	—			<p>工事の計画のㄨ(3)(ii)b-㉔)は、設置変更許可申請書（本文）のㄨ(3)(ii)b-㉔)を具体的に記載しており整合している。</p> <p>「溢水拡大防止堰」の「個数21」については、添付図面「浸水防護施設 内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面」により確認することができ、整合している。</p>	
			変更前	変更後																																																																																						
名	称			原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰																																																																																						
機	種	—		堰																																																																																						
主要 寸法	高	さ	mm	300以上*																																																																																						
材 料	地	—	—	鉄筋コンクリート																																																																																						
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )																																																																																									
	設 置 座	—		原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m																																																																																						
	溢水防護上の 区 画 番号	—																																																																																								
	溢水防護上の 配管が必要なる高さ	—																																																																																								
			変更前	変更後																																																																																						
名	称			原子炉建屋原子炉格納容器 溢水拡大防止堰																																																																																						
機	種	—		堰																																																																																						
主要 寸法	高	さ	mm	300以上*																																																																																						
材 料	地	—	—	鉄筋コンクリート																																																																																						
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )																																																																																									
	設 置 座	—		原子炉建屋原子炉格 納容器 EL.2.00 m																																																																																						
	溢水防護上の 区 画 番号	—																																																																																								
	溢水防護上の 配管が必要なる高さ	—																																																																																								

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主 体 部</td> <td>名 称</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的埋設用(内郭)浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>埋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主 体 部</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 深</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 設備が必要なる否</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主 体 部</td> <td>名 称</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的埋設用(内郭)浸水防護設備</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>埋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主 体 部</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 深</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 設備が必要なる否</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	主 体 部	名 称	—		原子的埋設用(内郭)浸水防護設備	種 類	—		埋	主 体 部	高 さ	mm		300以上*	材 質	—		鉄筋コンクリート	取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		—	設 置 深	—		原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—	浸水防護上の 設備が必要なる否	—		—				変更前	変更後	主 体 部	名 称	—		原子的埋設用(内郭)浸水防護設備	種 類	—		埋	主 体 部	高 さ	mm		300以上*	材 質	—		鉄筋コンクリート	取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		—	設 置 深	—		原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—	浸水防護上の 設備が必要なる否	—		—		
			変更前	変更後																																																																																
主 体 部	名 称	—		原子的埋設用(内郭)浸水防護設備																																																																																
	種 類	—		埋																																																																																
主 体 部	高 さ	mm		300以上*																																																																																
	材 質	—		鉄筋コンクリート																																																																																
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		—																																																																																
	設 置 深	—		原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m																																																																																
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—																																																																																
	浸水防護上の 設備が必要なる否	—		—																																																																																
			変更前	変更後																																																																																
主 体 部	名 称	—		原子的埋設用(内郭)浸水防護設備																																																																																
	種 類	—		埋																																																																																
主 体 部	高 さ	mm		300以上*																																																																																
	材 質	—		鉄筋コンクリート																																																																																
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		—																																																																																
	設 置 深	—		原子的埋設用(内郭) EL.2.00 m																																																																																
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—																																																																																
	浸水防護上の 設備が必要なる否	—		—																																																																																

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1245 261 1733 646"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td>「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>質</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>付</td> <td>箇</td> <td>所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 8.20 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1245 906 1733 1291"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td>「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>質</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>付</td> <td>箇</td> <td>所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 8.20 mからの高さ。</p>			変更前	変更後	名	称		「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」	種	類	—	壁	主要寸法	高	さ	300以上*	材	質	—	鉄筋コンクリート	取	付	箇	所		系 統 名 (ライン名)	—	—		設 置 床	—	原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m		浸水防護上の 区 画 番 号	—	—		浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ	—	—			変更前	変更後	名	称		「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」	種	類	—	壁	主要寸法	高	さ	300以上*	材	質	—	鉄筋コンクリート	取	付	箇	所		系 統 名 (ライン名)	—	—		設 置 床	—	原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m		浸水防護上の 区 画 番 号	—	—		浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ	—	—		
		変更前	変更後																																																																																	
名	称		「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」																																																																																	
種	類	—	壁																																																																																	
主要寸法	高	さ	300以上*																																																																																	
材	質	—	鉄筋コンクリート																																																																																	
取	付	箇	所																																																																																	
	系 統 名 (ライン名)	—	—																																																																																	
	設 置 床	—	原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m																																																																																	
	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—																																																																																	
	浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																	
名	称		「原子炉建屋の原子炉建屋地盤」 「浸水壁」																																																																																	
種	類	—	壁																																																																																	
主要寸法	高	さ	300以上*																																																																																	
材	質	—	鉄筋コンクリート																																																																																	
取	付	箇	所																																																																																	
	系 統 名 (ライン名)	—	—																																																																																	
	設 置 床	—	原子炉建屋床が種 EL. 8.20 m																																																																																	
	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—																																																																																	
	浸水防護上の 取 締 り 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																										
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊦(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">名 称</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">堰</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主要寸法 高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 付 設 置 区 画</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟 EL.8.20 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注釈 * : EL.8.20 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊦(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">名 称</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">堰</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主要寸法 高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 付 設 置 区 画</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟 EL.11.00 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注釈 * : EL.11.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称				原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻	種 類				堰	主要寸法 高 さ	mm			300以上*	材 質			-	鉄筋コンクリート	系 統 名 (ライン名)				-	取 付 設 置 区 画				原子炉建屋原子炉棟 EL.8.20 m	沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号				-	沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ				-				変更前	変更後	名 称				原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻	種 類				堰	主要寸法 高 さ	mm			300以上*	材 質			-	鉄筋コンクリート	系 統 名 (ライン名)				-	取 付 設 置 区 画				原子炉建屋原子炉棟 EL.11.00 m	沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号				-	沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ				-		
			変更前	変更後																																																																																										
名 称				原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻																																																																																										
種 類				堰																																																																																										
主要寸法 高 さ	mm			300以上*																																																																																										
材 質			-	鉄筋コンクリート																																																																																										
系 統 名 (ライン名)				-																																																																																										
取 付 設 置 区 画				原子炉建屋原子炉棟 EL.8.20 m																																																																																										
沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号				-																																																																																										
沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ				-																																																																																										
			変更前	変更後																																																																																										
名 称				原子炉建屋原子炉棟浸水防止 設備上巻																																																																																										
種 類				堰																																																																																										
主要寸法 高 さ	mm			300以上*																																																																																										
材 質			-	鉄筋コンクリート																																																																																										
系 統 名 (ライン名)				-																																																																																										
取 付 設 置 区 画				原子炉建屋原子炉棟 EL.11.00 m																																																																																										
沿 水 防 護 上 の 区 画 番 号				-																																																																																										
沿 水 防 護 上 の 配 置 必 要 高 さ				-																																																																																										

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																						
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊦(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1245 261 1733 646"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td colspan="3">原子力発電所の浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td colspan="3">壁</td> </tr> <tr> <td>土 工 法</td> <td>高 び</td> <td>mm</td> <td colspan="3">300以上*</td> </tr> <tr> <td colspan="3">材 質</td> <td colspan="3">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>取 付 所</td> <td colspan="2">設 置 区 画</td> <td colspan="3">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="3">浸水防護上の区画番号</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">浸水防護上の配置が必要な高さ</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.14.00 mからの高さ。</p>	変更前			変更後			名 称			原子力発電所の浸水防止設備			種 類			壁			土 工 法	高 び	mm	300以上*			材 質			鉄筋コンクリート			系 統 名 (ライン名)			—			取 付 所	設 置 区 画		原子力発電所			浸水防護上の区画番号			—			浸水防護上の配置が必要な高さ			—				
変更前			変更後																																																							
名 称			原子力発電所の浸水防止設備																																																							
種 類			壁																																																							
土 工 法	高 び	mm	300以上*																																																							
材 質			鉄筋コンクリート																																																							
系 統 名 (ライン名)			—																																																							
取 付 所	設 置 区 画		原子力発電所																																																							
浸水防護上の区画番号			—																																																							
浸水防護上の配置が必要な高さ			—																																																							
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊦(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1245 896 1733 1281"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td colspan="3">原子力発電所の浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td colspan="3">壁</td> </tr> <tr> <td>土 工 法</td> <td>高 び</td> <td>mm</td> <td colspan="3">300以上*</td> </tr> <tr> <td colspan="3">材 質</td> <td colspan="3">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>取 付 所</td> <td colspan="2">設 置 区 画</td> <td colspan="3">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="3">浸水防護上の区画番号</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">浸水防護上の配置が必要な高さ</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.20.30 mからの高さ。</p>	変更前			変更後			名 称			原子力発電所の浸水防止設備			種 類			壁			土 工 法	高 び	mm	300以上*			材 質			鉄筋コンクリート			系 統 名 (ライン名)			—			取 付 所	設 置 区 画		原子力発電所			浸水防護上の区画番号			—			浸水防護上の配置が必要な高さ			—				
変更前			変更後																																																							
名 称			原子力発電所の浸水防止設備																																																							
種 類			壁																																																							
土 工 法	高 び	mm	300以上*																																																							
材 質			鉄筋コンクリート																																																							
系 統 名 (ライン名)			—																																																							
取 付 所	設 置 区 画		原子力発電所																																																							
浸水防護上の区画番号			—																																																							
浸水防護上の配置が必要な高さ			—																																																							

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																						
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td></td> <td>原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷 設 深 度</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子防護院原子防護 EL. 20.30 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配線が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 * : EL. 20.30 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td></td> <td>原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷 設 深 度</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子防護院原子防護 EL. 20.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配線が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 * : EL. 20.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称				原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事	種 類	—			壁	主要寸法	高 さ	mm		300以上*	材 料	種 類	—		鉄筋コンクリート	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—	敷 設 深 度	—		原子防護院原子防護 EL. 20.30 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—		浸水防護上の 配線が必要な高さ	—		—				変更前	変更後	名 称				原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事	種 類	—			壁	主要寸法	高 さ	mm		300以上*	材 料	種 類	—		鉄筋コンクリート	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—	敷 設 深 度	—		原子防護院原子防護 EL. 20.00 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—		浸水防護上の 配線が必要な高さ	—		—		
			変更前	変更後																																																																																						
名 称				原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事																																																																																						
種 類	—			壁																																																																																						
主要寸法	高 さ	mm		300以上*																																																																																						
材 料	種 類	—		鉄筋コンクリート																																																																																						
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—																																																																																						
	敷 設 深 度	—		原子防護院原子防護 EL. 20.30 m																																																																																						
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—																																																																																						
	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—		—																																																																																						
			変更前	変更後																																																																																						
名 称				原子保安院原子防護課水防大 防犯壁工事																																																																																						
種 類	—			壁																																																																																						
主要寸法	高 さ	mm		300以上*																																																																																						
材 料	種 類	—		鉄筋コンクリート																																																																																						
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—																																																																																						
	敷 設 深 度	—		原子防護院原子防護 EL. 20.00 m																																																																																						
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—																																																																																						
	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—		—																																																																																						

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																				
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">名 称</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">—</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">壁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要手法</td> <td style="text-align: center;">高 度</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">添付箇所</td> <td style="text-align: center;">系 統 名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 深</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *：H:38.80 m以下の高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">名 称</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">—</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">取</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要手法</td> <td style="text-align: center;">高 度</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">添付箇所</td> <td style="text-align: center;">系 統 名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 深</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 *：H:38.80 m以下の高さ。</p>				変更前	変更後	名 称			—	原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備	種 類			壁	主要手法	高 度	※	300以上*	材 質	—	鉄筋コンクリート	添付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	設 置 深	—	原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				変更前	変更後	名 称			—	原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備	種 類			取	主要手法	高 度	※	300以上*	材 質	—	鉄筋コンクリート	添付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	設 置 深	—	原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		
			変更前	変更後																																																																				
名 称			—	原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備																																																																				
種 類				壁																																																																				
主要手法	高 度	※		300以上*																																																																				
	材 質	—		鉄筋コンクリート																																																																				
添付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—																																																																				
	設 置 深	—		原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m																																																																				
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		—																																																																				
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—																																																																				
				変更前	変更後																																																																			
名 称				—	原子炉建屋内（内郭）浸水防止設備																																																																			
種 類			取																																																																					
主要手法	高 度	※	300以上*																																																																					
	材 質	—	鉄筋コンクリート																																																																					
添付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—																																																																					
	設 置 深	—	原子炉建屋原子炉棟 H:38.80 m																																																																					
	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—																																																																					
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—																																																																					

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">凡(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>鉄筋コンクリート部高さ</td> <td>mm</td> <td>400以上<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>鋼板部高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>鉄筋コンクリート部</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>鋼 板 部</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 （ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置位置</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1：EL.46.50 mからの高さ。                  ※2：鉄筋コンクリート部天端からの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">凡(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>鉄筋コンクリート部高さ</td> <td>mm</td> <td>400以上<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>鋼板部高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>鉄筋コンクリート部</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>鋼 板 部</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 （ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置位置</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1：EL.46.50 mからの高さ。                  ※2：鉄筋コンクリート部天端からの高さ。</p>	名 称		変更前	変更後	種 類	—	—	原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備	主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>※1</sup>	鋼板部高さ	mm	300以上 <sup>※2</sup>	材 料	鉄筋コンクリート部	—	鉄筋コンクリート	鋼 板 部	—	SS400	取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—	設置位置	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m		浸水防護上の 区分番号	—	—		浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	名 称		変更前	変更後	種 類	—	—	原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備	主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>※1</sup>	鋼板部高さ	mm	300以上 <sup>※2</sup>	材 料	鉄筋コンクリート部	—	鉄筋コンクリート	鋼 板 部	—	SS400	取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—	設置位置	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m		浸水防護上の 区分番号	—	—		浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		
名 称		変更前	変更後																																																																											
種 類	—	—	原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備																																																																											
主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>※1</sup>																																																																											
	鋼板部高さ	mm	300以上 <sup>※2</sup>																																																																											
材 料	鉄筋コンクリート部	—	鉄筋コンクリート																																																																											
	鋼 板 部	—	SS400																																																																											
取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—																																																																											
	設置位置	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m																																																																											
	浸水防護上の 区分番号	—	—																																																																											
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—																																																																											
名 称		変更前	変更後																																																																											
種 類	—	—	原子炉建屋原子炉棟浸水防止設備																																																																											
主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>※1</sup>																																																																											
	鋼板部高さ	mm	300以上 <sup>※2</sup>																																																																											
材 料	鉄筋コンクリート部	—	鉄筋コンクリート																																																																											
	鋼 板 部	—	SS400																																																																											
取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—																																																																											
	設置位置	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.46.50 m																																																																											
	浸水防護上の 区分番号	—	—																																																																											
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—																																																																											



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																												
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1243 260 1733 657"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>原子的防護設備</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>—</td> <td>現</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>鉄筋コンクリート部高さ</td> <td>400以上<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>鋼板部高さ</td> <td>300以上<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>鉄筋コンクリート部</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>鋼板部</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>原子防護層下の床 EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の防護が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：*1: EL.46.50 m からの高さ。                  *2: 鉄筋コンクリート部天井からの高さ。</p>	変更前		変更後	名称		原子的防護設備	種別	—	現	主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	400以上 <sup>*1</sup>	鋼板部高さ	300以上 <sup>*2</sup>	材料	鉄筋コンクリート部	鉄筋コンクリート	鋼板部	SS400	取付箇所	系統名（ライン名）	—	設置床	原子防護層下の床 EL.46.50 m	浸水防護上の区画番号	—	浸水防護上の防護が必要な高さ	—		
変更前		変更後																														
名称		原子的防護設備																														
種別	—	現																														
主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	400以上 <sup>*1</sup>																														
	鋼板部高さ	300以上 <sup>*2</sup>																														
材料	鉄筋コンクリート部	鉄筋コンクリート																														
	鋼板部	SS400																														
取付箇所	系統名（ライン名）	—																														
	設置床	原子防護層下の床 EL.46.50 m																														
	浸水防護上の区画番号	—																														
	浸水防護上の防護が必要な高さ	—																														
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" data-bbox="1243 898 1733 1295"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>原子的防護設備</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>—</td> <td>現</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>鉄筋コンクリート部高さ</td> <td>400以上<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>鋼板部高さ</td> <td>300以上<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>鉄筋コンクリート部</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>鋼板部</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>原子防護層下の床 EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の防護が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：*1: EL.46.50 m からの高さ。                  *2: 鉄筋コンクリート部天井からの高さ。</p>	変更前		変更後	名称		原子的防護設備	種別	—	現	主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	400以上 <sup>*1</sup>	鋼板部高さ	300以上 <sup>*2</sup>	材料	鉄筋コンクリート部	鉄筋コンクリート	鋼板部	SS400	取付箇所	系統名（ライン名）	—	設置床	原子防護層下の床 EL.46.50 m	浸水防護上の区画番号	—	浸水防護上の防護が必要な高さ	—		
変更前		変更後																														
名称		原子的防護設備																														
種別	—	現																														
主要寸法	鉄筋コンクリート部高さ	400以上 <sup>*1</sup>																														
	鋼板部高さ	300以上 <sup>*2</sup>																														
材料	鉄筋コンクリート部	鉄筋コンクリート																														
	鋼板部	SS400																														
取付箇所	系統名（ライン名）	—																														
	設置床	原子防護層下の床 EL.46.50 m																														
	浸水防護上の区画番号	—																														
	浸水防護上の防護が必要な高さ	—																														

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																			
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉防護施設 浸水防止設備</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">壁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td>鉄筋コンクリート部高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">400以上<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>鋼 板 部 高 さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">300以上<sup>**)</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 質</td> <td>鉄筋コンクリート部</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>鋼 板 部</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>-</td> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉棟 EL. 06.50 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">備 考</td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: EL. 06.50 mからの高さ。                  **2: 鉄筋コンクリート部天端からの高さ。</p>	変更前			変更後		名 称			原子炉建屋原子炉防護施設 浸水防止設備		種 別	-		壁		主要 寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>*)</sup>		鋼 板 部 高 さ	mm	300以上 <sup>**)</sup>		材 質	鉄筋コンクリート部	-	鉄筋コンクリート		鋼 板 部	-	SS400		取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	-	-		設 置 床	-	原子炉建屋原子炉棟 EL. 06.50 m		備 考	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-		浸水防護上の 配置が必要な高さ	-	-			
変更前			変更後																																																				
名 称			原子炉建屋原子炉防護施設 浸水防止設備																																																				
種 別	-		壁																																																				
主要 寸法	鉄筋コンクリート部高さ	mm	400以上 <sup>*)</sup>																																																				
	鋼 板 部 高 さ	mm	300以上 <sup>**)</sup>																																																				
材 質	鉄筋コンクリート部	-	鉄筋コンクリート																																																				
	鋼 板 部	-	SS400																																																				
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	-	-																																																				
	設 置 床	-	原子炉建屋原子炉棟 EL. 06.50 m																																																				
備 考	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-																																																				
	浸水防護上の 配置が必要な高さ	-	-																																																				
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A(3)(ii)b-⑤</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td colspan="2">原子炉建屋付属機油本防大 浸水壁</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">壁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要 寸法</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">400以上<sup>*)</sup></td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>-</td> <td colspan="2">原子炉建屋付属棟 EL. 23.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">備 考</td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: EL. 23.00 mからの高さ。</p>	変更前			変更後		名 称			原子炉建屋付属機油本防大 浸水壁		種 別	-		壁		主要 寸法	高 さ	mm	400以上 <sup>*)</sup>		材 質	-	鉄筋コンクリート		取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	-	-		設 置 床	-	原子炉建屋付属棟 EL. 23.00 m		備 考	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-		浸水防護上の 配置が必要な高さ	-	-												
変更前			変更後																																																				
名 称			原子炉建屋付属機油本防大 浸水壁																																																				
種 別	-		壁																																																				
主要 寸法	高 さ	mm	400以上 <sup>*)</sup>																																																				
	材 質	-	鉄筋コンクリート																																																				
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	-	-																																																				
	設 置 床	-	原子炉建屋付属棟 EL. 23.00 m																																																				
備 考	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-																																																				
	浸水防護上の 配置が必要な高さ	-	-																																																				

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																				
<p>㊦(3)(ii)b-㊦止水板 個.....数.....29</p>		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㊦(3)(ii)b-㊦</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3">名称</th> <td colspan="2">㊦(3)(ii)b-㊦-1</td> </tr> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>一</th> <td colspan="2">堰</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">主要寸法</th> <th>幅</th> <th>寸</th> <td colspan="2">900 以上*</td> </tr> <tr> <th>高さ</th> <th>寸</th> <td colspan="2">35-430</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">材料</th> <th colspan="2">鋼</th> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <th colspan="2">鉄筋コンクリート</th> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">取付箇所</th> <th colspan="2">浸水防護上の区画内</th> <td colspan="2">原寸か建屋原寸の幅 H<sub>1</sub>-4.00 m</td> </tr> <tr> <th colspan="2">溢水防護上の配置が必要となる</th> <td colspan="2">—</td> </tr> </thead> </table> <p><small>*H<sub>1</sub>: EL<sub>1</sub>-4.00 mからの高さ。</small></p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b> ㊦(3)(ii)b-㊦</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3">名称</th> <td colspan="2">㊦(3)(ii)b-㊦-2</td> </tr> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>一</th> <td colspan="2">堰</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">主要寸法</th> <th>幅</th> <th>寸</th> <td colspan="2">900 以上*</td> </tr> <tr> <th>高さ</th> <th>寸</th> <td colspan="2">35-400</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">材料</th> <th colspan="2">鋼</th> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <th colspan="2">鉄筋コンクリート</th> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">取付箇所</th> <th colspan="2">浸水防護上の区画内</th> <td colspan="2">原寸か建屋原寸の幅 H<sub>1</sub>-4.00 m</td> </tr> <tr> <th colspan="2">溢水防護上の配置が必要となる</th> <td colspan="2">—</td> </tr> </thead> </table> <p><small>*H<sub>1</sub>: EL<sub>1</sub>-4.00 mからの高さ。</small></p>				変更前	変更後	名称			㊦(3)(ii)b-㊦-1		種	類	一	堰		主要寸法	幅	寸	900 以上*		高さ	寸	35-430		材料	鋼		—		鉄筋コンクリート		—		取付箇所	浸水防護上の区画内		原寸か建屋原寸の幅 H <sub>1</sub> -4.00 m		溢水防護上の配置が必要となる		—					変更前	変更後	名称			㊦(3)(ii)b-㊦-2		種	類	一	堰		主要寸法	幅	寸	900 以上*		高さ	寸	35-400		材料	鋼		—		鉄筋コンクリート		—		取付箇所	浸水防護上の区画内		原寸か建屋原寸の幅 H <sub>1</sub> -4.00 m		溢水防護上の配置が必要となる		—		<p>工事の計画の㊦(3)(ii)b-㊦は、設置変更許可申請書（本文）の㊦(3)(ii)b-㊦を具体的に記載しており整合している。</p> <p>「止水板」の「個数29」については、添付図面「浸水防護施設内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面」により確認することができ、整合している。</p>	
			変更前	変更後																																																																																				
名称			㊦(3)(ii)b-㊦-1																																																																																					
種	類	一	堰																																																																																					
主要寸法	幅	寸	900 以上*																																																																																					
	高さ	寸	35-430																																																																																					
材料	鋼		—																																																																																					
	鉄筋コンクリート		—																																																																																					
取付箇所	浸水防護上の区画内		原寸か建屋原寸の幅 H <sub>1</sub> -4.00 m																																																																																					
	溢水防護上の配置が必要となる		—																																																																																					
			変更前	変更後																																																																																				
名称			㊦(3)(ii)b-㊦-2																																																																																					
種	類	一	堰																																																																																					
主要寸法	幅	寸	900 以上*																																																																																					
	高さ	寸	35-400																																																																																					
材料	鋼		—																																																																																					
	鉄筋コンクリート		—																																																																																					
取付箇所	浸水防護上の区画内		原寸か建屋原寸の幅 H <sub>1</sub> -4.00 m																																																																																					
	溢水防護上の配置が必要となる		—																																																																																					

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td>—</td> <td>900以上*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>55400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>系 統 名 (サイン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL. -1.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の設置が必要否</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. -0.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td>—</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>55400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>系 統 名 (サイン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL. -2.00 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>浸水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の設置が必要否</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 2.00 mからの高さ。</p>	名称			変更前	変更後	種	類	—	—	同上	主要寸法	高	300	—	900以上*	幅	—	—	55400	材料	系 統 名 (サイン名)	—	—	—	設 置 床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -1.00 m	取付箇所	浸水防護上の区画番号	—	—	—	浸水防護上の設置が必要否	—	—	—	名称			変更前	変更後	種	類	—	—	同上	主要寸法	高	300	—	300以上*	幅	—	—	55400	材料	系 統 名 (サイン名)	—	—	—	設 置 床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -2.00 m	取付箇所	浸水防護上の区画番号	—	—	—	浸水防護上の設置が必要否	—	—	—		
名称			変更前	変更後																																																																										
種	類	—	—	同上																																																																										
主要寸法	高	300	—	900以上*																																																																										
	幅	—	—	55400																																																																										
材料	系 統 名 (サイン名)	—	—	—																																																																										
	設 置 床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -1.00 m																																																																										
取付箇所	浸水防護上の区画番号	—	—	—																																																																										
	浸水防護上の設置が必要否	—	—	—																																																																										
名称			変更前	変更後																																																																										
種	類	—	—	同上																																																																										
主要寸法	高	300	—	300以上*																																																																										
	幅	—	—	55400																																																																										
材料	系 統 名 (サイン名)	—	—	—																																																																										
	設 置 床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. -2.00 m																																																																										
取付箇所	浸水防護上の区画番号	—	—	—																																																																										
	浸水防護上の設置が必要否	—	—	—																																																																										

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																				
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">名 称</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">既設埋立管の埋立管延長延長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">鋼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事法</td> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;">環</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;">管 統 名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">原付埋立管延長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 区分番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">EL. 2.00 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 配管が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">名 称</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">既設埋立管の埋立管延長延長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">鋼</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事法</td> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">300以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;">環</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;">管 統 名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">原付埋立管延長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 区分番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">EL. 2.00 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">浸水防護上の 配管が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.2.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称			既設埋立管の埋立管延長延長		種 類	種 別	材 質	-	鋼	工事法	高 さ	mm	-	300以上*	材 料	環	-	-	SS400	取付箇所	管 統 名 (ライン名)	-	-	-	取 付 箇 所	-	-	原付埋立管延長	浸水防護上の 区分番号	-	-	EL. 2.00 m	浸水防護上の 配管が必要な高さ	-	-	-				変更前	変更後	名 称			既設埋立管の埋立管延長延長		種 類	種 別	材 質	-	鋼	工事法	高 さ	mm	-	300以上*	材 料	環	-	-	SS400	取付箇所	管 統 名 (ライン名)	-	-	-	取 付 箇 所	-	-	原付埋立管延長	浸水防護上の 区分番号	-	-	EL. 2.00 m	浸水防護上の 配管が必要な高さ	-	-	-		
			変更前	変更後																																																																																				
名 称			既設埋立管の埋立管延長延長																																																																																					
種 類	種 別	材 質	-	鋼																																																																																				
工事法	高 さ	mm	-	300以上*																																																																																				
材 料	環	-	-	SS400																																																																																				
取付箇所	管 統 名 (ライン名)	-	-	-																																																																																				
	取 付 箇 所	-	-	原付埋立管延長																																																																																				
	浸水防護上の 区分番号	-	-	EL. 2.00 m																																																																																				
	浸水防護上の 配管が必要な高さ	-	-	-																																																																																				
			変更前	変更後																																																																																				
名 称			既設埋立管の埋立管延長延長																																																																																					
種 類	種 別	材 質	-	鋼																																																																																				
工事法	高 さ	mm	-	300以上*																																																																																				
材 料	環	-	-	SS400																																																																																				
取付箇所	管 統 名 (ライン名)	-	-	-																																																																																				
	取 付 箇 所	-	-	原付埋立管延長																																																																																				
	浸水防護上の 区分番号	-	-	EL. 2.00 m																																																																																				
	浸水防護上の 配管が必要な高さ	-	-	-																																																																																				

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																				
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <td colspan="2" style="text-align: center;">「<u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u>」</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">要 素</th> <th style="text-align: center;">要 素 記 号</th> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">埋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要工法</td> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">300 以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 扱</td> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">名 称</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">( ラ イ ン 系 )</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">掘り埋埋設の埋 E1.14.00 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </thead> </table> <p>注記 *：E1.14.00 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称			「 <u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u> 」		種 別	要 素	要 素 記 号	-	埋	主要工法	高 さ	mm	-	300 以上*	取 扱	材 質	-	SS400	材 質	種 類	名 称	-	-	( ラ イ ン 系 )	-	-	-	取 付 箇 所	設 置 高 さ	m	-	掘り埋埋設の埋 E1.14.00 m	設 置 高 さ	m	-	-	設 置 箇 所	設 置 箇 所	区 画 番 号	-	-	設 置 箇 所	設 置 箇 所	設 置 箇 所	-	-		
			変更前	変更後																																																				
名 称			「 <u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u> 」																																																					
種 別	要 素	要 素 記 号	-	埋																																																				
主要工法	高 さ	mm	-	300 以上*																																																				
	取 扱	材 質	-	SS400																																																				
材 質	種 類	名 称	-	-																																																				
	( ラ イ ン 系 )	-	-	-																																																				
取 付 箇 所	設 置 高 さ	m	-	掘り埋埋設の埋 E1.14.00 m																																																				
	設 置 高 さ	m	-	-																																																				
設 置 箇 所	設 置 箇 所	区 画 番 号	-	-																																																				
設 置 箇 所	設 置 箇 所	設 置 箇 所	-	-																																																				
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <td colspan="2" style="text-align: center;">「<u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u>」</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">要 素</th> <th style="text-align: center;">要 素 記 号</th> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">埋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要工法</td> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">300 以上*</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 扱</td> <td style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">材 質</td> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">名 称</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">( ラ イ ン 系 )</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">掘り埋埋設の埋 E1.20.30 m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">設 置 箇 所</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </thead> </table> <p>注記 *：E1.20.30 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称			「 <u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u> 」		種 別	要 素	要 素 記 号	-	埋	主要工法	高 さ	mm	-	300 以上*	取 扱	材 質	-	SS400	材 質	種 類	名 称	-	-	( ラ イ ン 系 )	-	-	-	取 付 箇 所	設 置 高 さ	m	-	掘り埋埋設の埋 E1.20.30 m	設 置 高 さ	m	-	-	設 置 箇 所	設 置 箇 所	区 画 番 号	-	-	設 置 箇 所	設 置 箇 所	設 置 箇 所	-	-		
			変更前	変更後																																																				
名 称			「 <u>地上型壁式鋼管埋込止水壁</u> 」																																																					
種 別	要 素	要 素 記 号	-	埋																																																				
主要工法	高 さ	mm	-	300 以上*																																																				
	取 扱	材 質	-	SS400																																																				
材 質	種 類	名 称	-	-																																																				
	( ラ イ ン 系 )	-	-	-																																																				
取 付 箇 所	設 置 高 さ	m	-	掘り埋埋設の埋 E1.20.30 m																																																				
	設 置 高 さ	m	-	-																																																				
設 置 箇 所	設 置 箇 所	区 画 番 号	-	-																																																				
設 置 箇 所	設 置 箇 所	設 置 箇 所	-	-																																																				

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																		
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>掘</td> </tr> <tr> <td>主 要 寸 法</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 箇 所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：目.20.30 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>掘</td> </tr> <tr> <td>主 要 寸 法</td> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 箇 所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：目.20.30 mからの高さ。</p>	名 称			変更前	変更後	種 類	—	—	—	掘	主 要 寸 法	高 さ	mm	—	300以上*	材 料	種 類	—	—	SS400	取 付 所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—	設 置 箇 所	—	—	原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m	浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ	—	—	—	名 称			変更前	変更後	種 類	—	—	—	掘	主 要 寸 法	高 さ	mm	—	300以上*	材 料	種 類	—	—	SS400	取 付 所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—	設 置 箇 所	—	—	原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m	浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ	—	—	—		
名 称			変更前	変更後																																																																		
種 類	—	—	—	掘																																																																		
主 要 寸 法	高 さ	mm	—	300以上*																																																																		
材 料	種 類	—	—	SS400																																																																		
取 付 所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—																																																																		
	設 置 箇 所	—	—	原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m																																																																		
	浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ	—	—	—																																																																		
名 称			変更前	変更後																																																																		
種 類	—	—	—	掘																																																																		
主 要 寸 法	高 さ	mm	—	300以上*																																																																		
材 料	種 類	—	—	SS400																																																																		
取 付 所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—																																																																		
	設 置 箇 所	—	—	原子炉建屋原子炉棟 目.20.30 m																																																																		
	浸水防護上の 区画番号 浸水防護上の 取付が必要な高さ	—	—	—																																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 5%;">変更前</th> <th style="width: 5%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td style="border-top: 1px dashed black;">電子の埋込み型止水板 3-4</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>-</td> <td>環</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>環</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系 統 名 (ライン名)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>取 付 設 置 深</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>原寸の埋込み型 EL.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>箇 所</td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 設置が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 * : EL.20.30 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 5%;">変更前</th> <th style="width: 5%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td style="border-top: 1px dashed black;">埋込み型止水板 3-5</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>-</td> <td>環</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>環</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系 統 名 (ライン名)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>取 付 設 置 深</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>原寸の埋込み型 EL.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>箇 所</td> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 設置が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注記 * : EL.20.30 mからの高さ。</p>				変更前	変更後	名 称			-	電子の埋込み型止水板 3-4	種 類	-	環	主要寸法	高さ	mm	300以上*	材 質	環	-	SS400	系 統 名 (ライン名)			-	取 付 設 置 深	-	-	原寸の埋込み型 EL.20.30 m	箇 所	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-		浸水防護上の 設置が必要な高さ	-	-				変更前	変更後	名 称			-	埋込み型止水板 3-5	種 類	-	環	主要寸法	高さ	mm	300以上*	材 質	環	-	SS400	系 統 名 (ライン名)			-	取 付 設 置 深	-	-	原寸の埋込み型 EL.20.30 m	箇 所	浸水防護上の 区 画 番 号	-	-		浸水防護上の 設置が必要な高さ	-	-		
			変更前	変更後																																																																										
名 称			-	電子の埋込み型止水板 3-4																																																																										
種 類	-	環																																																																												
主要寸法	高さ	mm		300以上*																																																																										
材 質	環	-		SS400																																																																										
系 統 名 (ライン名)				-																																																																										
取 付 設 置 深	-	-		原寸の埋込み型 EL.20.30 m																																																																										
箇 所	浸水防護上の 区 画 番 号	-		-																																																																										
	浸水防護上の 設置が必要な高さ	-	-																																																																											
			変更前	変更後																																																																										
名 称			-	埋込み型止水板 3-5																																																																										
種 類	-	環																																																																												
主要寸法	高さ	mm		300以上*																																																																										
材 質	環	-		SS400																																																																										
系 統 名 (ライン名)				-																																																																										
取 付 設 置 深	-	-		原寸の埋込み型 EL.20.30 m																																																																										
箇 所	浸水防護上の 区 画 番 号	-		-																																																																										
	浸水防護上の 設置が必要な高さ	-	-																																																																											



設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																							
		<p>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" data-bbox="1240 272 1733 643"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>堤</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>主要な法</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材</td> <td>種</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">所</td> <td>浸水防護上の 設備が必要となる</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.20.30 mからの高さ。</p>	名 称			変更前	変更後	種	類	—	—	堤	高さ	mm	300以上*	主要な法	種	—	—	SS400	材	種	—	—	—	系統名 (ライン名)	—	—	取付箇	設置床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m	浸水防護上の 区分番号	—	—	所	浸水防護上の 設備が必要となる	—	—	—		
名 称			変更前	変更後																																							
種	類	—	—	堤																																							
	高さ	mm		300以上*																																							
主要な法	種	—	—	SS400																																							
材	種	—	—	—																																							
	系統名 (ライン名)	—		—																																							
取付箇	設置床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m																																							
	浸水防護上の 区分番号	—		—																																							
所	浸水防護上の 設備が必要となる	—	—	—																																							
				<p>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" data-bbox="1240 906 1733 1276"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>堤</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>主要な法</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材</td> <td>種</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">所</td> <td>浸水防護上の 設備が必要となる</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.20.30 mからの高さ。</p>	名 称			変更前	変更後	種	類	—	—	堤	高さ	mm	300以上*	主要な法	種	—	—	SS400	材	種	—	—	—	系統名 (ライン名)	—	—	取付箇	設置床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m	浸水防護上の 区分番号	—	—	所	浸水防護上の 設備が必要となる	—	—	—
名 称			変更前	変更後																																							
種	類	—	—	堤																																							
	高さ	mm		300以上*																																							
主要な法	種	—	—	SS400																																							
材	種	—	—	—																																							
	系統名 (ライン名)	—		—																																							
取付箇	設置床	—	—	原子炉建屋原子炉棟 EL.20.30 m																																							
	浸水防護上の 区分番号	—		—																																							
所	浸水防護上の 設備が必要となる	—	—	—																																							

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																						
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種 別</td> <td>種</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>原子防護用原子防護止水板 1-1</td> </tr> <tr> <td>場</td> <td>—</td> <td>場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事方法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td rowspan="2">—</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td rowspan="4">—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>原子防護用原子防護</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>01.29.00 n</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配管が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：01.29.00 nからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種 別</td> <td>種</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>原子防護用原子防護止水板 1-1</td> </tr> <tr> <td>場</td> <td>—</td> <td>場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事方法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td rowspan="2">—</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td rowspan="4">—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>原子防護用原子防護</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>01.29.00 n</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配管が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：01.29.00 nからの高さ。</p>	名 称			変更前	変更後	種 別	種	—	—	原子防護用原子防護止水板 1-1	場	—	場	工事方法	高	300	—	300以上*	材	—	SS400	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—	設 置 床	—	原子防護用原子防護	浸水防護上の 区 画 番 号	—	01.29.00 n	浸水防護上の 配管が必要な高さ	—	—	名 称			変更前	変更後	種 別	種	—	—	原子防護用原子防護止水板 1-1	場	—	場	工事方法	高	300	—	300以上*	材	—	SS400	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—	設 置 床	—	原子防護用原子防護	浸水防護上の 区 画 番 号	—	01.29.00 n	浸水防護上の 配管が必要な高さ	—	—		
名 称			変更前	変更後																																																																						
種 別	種	—	—	原子防護用原子防護止水板 1-1																																																																						
	場	—		場																																																																						
工事方法	高	300	—	300以上*																																																																						
	材	—		SS400																																																																						
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—																																																																						
	設 置 床	—		原子防護用原子防護																																																																						
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		01.29.00 n																																																																						
	浸水防護上の 配管が必要な高さ	—		—																																																																						
名 称			変更前	変更後																																																																						
種 別	種	—	—	原子防護用原子防護止水板 1-1																																																																						
	場	—		場																																																																						
工事方法	高	300	—	300以上*																																																																						
	材	—		SS400																																																																						
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	—																																																																						
	設 置 床	—		原子防護用原子防護																																																																						
	浸水防護上の 区 画 番 号	—		01.29.00 n																																																																						
	浸水防護上の 配管が必要な高さ	—		—																																																																						

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																												
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" data-bbox="1240 268 1733 639"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-3</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>種</td> <td>—</td> <td></td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置位置</td> <td>床</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：E1.29.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表） 2. 内郭浸水防護設備</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" data-bbox="1240 906 1733 1278"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td></td> <td>原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-1</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>種</td> <td>—</td> <td></td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置位置</td> <td>床</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浸水防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：E1.29.00 mからの高さ。</p>	名称			変更前	変更後	種	類	—		原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-3	主要寸法	高	さ	mm	300以上*	材料	種	—		SS400	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—	設置位置	床	—	原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m	浸水防護上の 区画番号	—		—		浸水防護上の 配置が必要な高さ	—		—	名称			変更前	変更後	種	類	—		原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-1	主要寸法	高	さ	mm	300以上*	材料	種	—		SS400	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—	設置位置	床	—	原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m	浸水防護上の 区画番号	—		—		浸水防護上の 配置が必要な高さ	—		—		
名称			変更前	変更後																																																																												
種	類	—		原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-3																																																																												
主要寸法	高	さ	mm	300以上*																																																																												
材料	種	—		SS400																																																																												
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—																																																																												
	設置位置	床	—	原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m																																																																												
	浸水防護上の 区画番号	—		—																																																																												
	浸水防護上の 配置が必要な高さ	—		—																																																																												
名称			変更前	変更後																																																																												
種	類	—		原子的建屋原子炉棟に水浸し水浸し4-1																																																																												
主要寸法	高	さ	mm	300以上*																																																																												
材料	種	—		SS400																																																																												
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—																																																																												
	設置位置	床	—	原子炉建屋原子炉棟 E1.29.00 m																																																																												
	浸水防護上の 区画番号	—		—																																																																												
	浸水防護上の 配置が必要な高さ	—		—																																																																												

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																														
		<p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">—</td> <td>地下埋設型（中埋）水防壁</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 （ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 所</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>EL.29.00 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配線が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.29.00 mからの高さ。</p> <p><b>【浸水防護施設】（要目表）</b> 2. 内郭浸水防護設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(3)(ii)b-⑥</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">—</td> <td>埋 設</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高</td> <td>300</td> <td>300以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 （ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 所</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>EL.28.80 m</td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の 配線が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL.28.80 mからの高さ。</p>	名 称			変更前	変更後	種	類	—	—	地下埋設型（中埋）水防壁	主要寸法	高	300	300以上*	材料	種	—	SS400	取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—	設 置 所	—	原子炉建屋原子炉棟	浸水防護上の 区分番号	—	EL.29.00 m	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—	—	名 称			変更前	変更後	種	類	—	—	埋 設	主要寸法	高	300	300以上*	材料	種	—	SS400	取付箇所	系統名 （ライン名）	—	—	設 置 所	—	原子炉建屋原子炉棟	浸水防護上の 区分番号	—	EL.28.80 m	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—	—		
名 称			変更前	変更後																																																														
種	類	—	—	地下埋設型（中埋）水防壁																																																														
主要寸法	高	300		300以上*																																																														
材料	種	—		SS400																																																														
取付箇所	系統名 （ライン名）	—		—																																																														
	設 置 所	—		原子炉建屋原子炉棟																																																														
	浸水防護上の 区分番号	—		EL.29.00 m																																																														
	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—	—																																																															
名 称			変更前	変更後																																																														
種	類	—	—	埋 設																																																														
主要寸法	高	300		300以上*																																																														
材料	種	—		SS400																																																														
取付箇所	系統名 （ライン名）	—		—																																																														
	設 置 所	—		原子炉建屋原子炉棟																																																														
	浸水防護上の 区分番号	—		EL.28.80 m																																																														
	浸水防護上の 配線が必要な高さ	—	—																																																															